

# 時を ふりかえる

令和6年能登半島地震および  
奥能登豪雨における活動報告

発災～令和7年3月  
までの動き



社会福祉法人  
石川県社会福祉協議会



## 発行に寄せて

石川県知事（石川県社会福祉協議会会長）

馳 浩



令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震は、最大震度7を観測する県政史上未曾有の大災害となりました。また、同年9月21日に発生した令和6年奥能登豪雨は、奥能登地域を中心に記録的な大雨となり、地震から8ヶ月余りしか経過していない中、復旧・復興の途上にある被災地を襲った複合災害となりました。ここに改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

県社会福祉協議会や市町社会福祉協議会においては、災害ボランティアセンターの設置・運営や災害派遣福祉チーム（DWA T）の派遣調整、生活福祉資金の貸付に加え、今日もなお、被災者に対する見守りや相談支援を実施するなど、度重なる被災で不安を抱える被災者に寄り添った支援を継続いただいております。改めて深く感謝申し上げます。

今般の災害を受け、これまであった地域ごとのコミュニティが瓦解し、被災者は仮設住宅等での生活を余儀なくされました。また、高齢化率の高い能登地域においては、福祉サービスが重要な役割を担う中、社会福祉施設も被災し一部が運営休止に至るなど、サービスの提供体制に多大なる影響を及ぼしました。

発災直後においては、ライフラインの早期復旧が見込めなかったことから、県では、被災者の安全確保を最優先とし、1.5次避難所の設置や県内外への広域避難を推し進めてきました。一方で、被災された方々が住み慣れた場所で安心して暮らしていくことが第一であり、インフラ等の復旧はもとより、社会福祉施設等の復旧支援や、地域コミュニティの再建支援を実施するなど、一日も早く平穏な暮らしを取り戻せるよう、復旧・復興に取り組んでおります。

被災地では、被災者の方々の懸命な取組や、県内外からの多くのご支援により、復旧から復興に向けた動きが少しずつ進展しております。

県では、本年を「復興元年」と位置づけ、被災者の方々の生活と生業の再建を加速させるとともに、創造的復興に向けた具体の取組を始動させることとしており、国や市町、社会福祉協議会をはじめ、災害支援に関わる方々と一丸となって、全力で取り組んでいく所存であります。

結びに、令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨に伴う社会福祉協議会の対応状況等を収録した貴重な記録である本書が、多くの関係機関の皆様に広く活用されることを祈念いたします。



## 時をふりかえる

社会福祉法人石川県社会福祉協議会  
理事長 安宅 建樹



令和6年1月1日16時10分、穏やかに晴れ渡った元日を突如襲った能登半島地震により、被害に遭った地域では人々の生活も景色も一変しました。被災地での生活を立て直そうとする最中の9月21日、追い打ちをかけるように起きた奥能登豪雨。これらの災害により、たくさんの尊い命が奪われ、多くの家屋が倒壊し、道路の寸断や液状化等、復旧が思うように進まず、能登で暮らし続ける人も広域避難された方も、今なお、不自由な生活を余儀なくされています。ここに改めて、災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。

地震発生から1年以上経過し、この間、市町社会福祉協議会（以下、市町社協）職員は自らも被災者でありながら、その地域で暮らし続ける住民の生活を守るため、復旧・復興に向けて、災害ボランティアセンターの運営や被災者の見守り・相談支援活動を行ってきました。

また、本会においては、職員の安否確認にはじまり、市町社協職員や本会に事務局のある種別協議会・団体会員施設等の被害状況の確認、災害ボランティアセンターの立ち上げ支援、生活福祉資金災害特例貸付への対応、地域支え合いセンターの設置など、対応に追われる日々が続きました。

いずれの活動においても、県内はもとより、東海北陸ブロック及び全国の社協から応援職員の派遣をいただき、さらには、全国の関係諸団体から途切れることなく人的・物的支援をいただけたことで、今日があると感謝いたしております。

復旧・復興の半ばではありますが、ご支援をいただいた皆様方と「時をふりかえる」とともに、今回の大災害で得た経験や学びを検証し、教訓として今後起こり得る災害への対応力向上を目指すための礎石として、この報告書を発行することといたしました。

令和7年5月28日に災害法制等が改正され、災害救助法における「救助」の種類に、「福祉サービスの提供」が位置づけられることになりました。これまで「よかれ」とかかわってきたことまでが「やるべき義務」とされ社協が責任を持って取り組んでいくためには、活動に必要な「人と財源」の確保を関係者に呼び掛けていくことも必要となります。

結びにあたり、これからの復旧・復興に向け、ボランティアの方々はじめ、被災者支援にかかわっていただいた方々のご支援・ご厚情に深く感謝申し上げますとともに、いしかわのこれからを見守っていただければ幸いです。

## 能登半島地震-震災



珠洲市三崎町 家屋倒壊

©出展:令和6年能登半島地震アーカイブ(提供者:石川県)/  
CC BY-NC-SA



珠洲市飯田町 家屋倒壊

©出展:令和6年能登半島地震アーカイブ(提供者:石川県)/CC BY-NC-SA



珠洲市見附島 (2023年5月撮影)

1年後



珠洲市見附島 (2024年5月撮影)



珠洲市内 家屋倒壊



珠洲市内 地震被害



# photo

## 能登半島地震-震災



輪島市朝市通り 建物倒壊

©出展:令和6年能登半島地震アーカイブ(提供者:石川県)/CC BY-NC-SA



輪島市名舟町 海岸隆起したところに迂回路(国道249号)

©出展:令和6年能登半島地震アーカイブ(提供者:石川県)/CC BY-NC-SA



輪島市鴨ヶ浦トンネル付近 土砂崩れ



輪島市内 マンホール隆起



輪島市朝市通り 火災現場



輪島市内体育館 地震被害



## 能登半島地震-震災



輪島市内 家屋倒壊



輪島市役所 地震被害



輪島市門前町黒島 家屋倒壊



能登町白丸地区 津波被害

©出展:令和6年能登半島地震アーカイブ(提供者:石川県)/CC BY-NC-SA



能登町内 家屋倒壊





# photo

## 能登半島地震-震災



穴水町川島 土砂崩れ

©出展:令和6年能登半島地震アーカイブ(提供者:石川県)/CC BY-NC-SA



のと里山海道（羽咋市寺家町）大規模崩落

©出展:令和6年能登半島地震アーカイブ(提供者:石川県)/CC BY-NC-SA



宝達志水町柳瀬 液状化被害

©出展:令和6年能登半島地震アーカイブ(提供者:石川県)/CC BY-NC-SA



内灘町内 液状化被害



県社協事務所内





## 奥能登豪雨-水害



輪島市河井町 輪島市社協事務所前



輪島市内 豪雨被害



輪島市宅田町内仮設住宅 豪雨被害



輪島市災害たすけあいセンター 豪雨被害



輪島市町野町 豪雨被害



奥能登豪雨-水害



輪島市西保地区 豪雨被害



輪島市内 豪雨被害



輪島市山本町 豪雨被害



輪島市久手川 豪雨被害



能登町五十里地区 豪雨被害



能登町小間生地区 豪雨被害



## 災害ボランティアセンター運営



急遽作成した  
「珠洲市災害ボランティアセンター」の看板



珠洲市 ミーティング



珠洲市 ボランティアバス



輪島市 開所日の様子



輪島市 オリエンテーション



輪島市（門前サテライト） オリエンテーション

# photo

## 災害ボランティアセンター運営



輪島市 ミーティング



輪島市 被害状況確認



能登町 オリエンテーション



能登町 受付



穴水町 ミーティング



七尾市 関係団体ミーティング



## 災害ボランティアセンター運営



七尾市 活動初日



七尾市 受付



七尾市 オリエンテーション



七尾市 災害ごみ仮置き場



七尾市 ボランティア宿泊拠点



奥能登ベースキャンプ



災害ボランティア活動



家財運び出し



仏壇運び出し



瓦撤去



家財運び出し



泥出し



泥出し



## 目 次

1	令和6年能登半島地震および奥能登豪雨の被害状況	1
2	石川県社会福祉協議会の初動対応	4
3	災害ボランティアセンター運営にかかる取組み	7
4	生活福祉資金特例貸付の実施	9
5	石川県災害派遣福祉チーム（石川県DWA T）の動き	13
6	社会福祉施設等への支援状況について	16
7	石川県福祉の仕事マッチングサポートセンターの取組み	24
8	石川県地域支え合いセンターの取組み	28
	【資料編】	36

## この報告における用語解説

- 社 協…社会福祉協議会
  - 「全 社 協」= 全国社会福祉協議会
  - 「県 社 協」= 石川県社会福祉協議会
  - 「(県名)社協」= (県名) 社会福祉協議会
  - 「市・町社協」= (市・町名) 社会福祉協議会
- 災害 V C…災害ボランティアセンター
- 支 援 P…災害ボランティア活動支援プロジェクト会議

被災地主体のボランティア活動に寄与するため、平成16年10月の新潟県中越地震発生  
の後、平成17年1月に中央共同募金会に設置された、企業や社協、N P O、共同募金会  
が協働するネットワーク組織
- 石川県DWAT…石川県災害派遣福祉チーム

都道府県単位で設置されており、災害発生後、被災地に入り一般避難所等で高齢者や  
障害者など要配慮者への支援を行う専門チーム
- 全国老施協DWAT…全国老人福祉施設協議会災害派遣福祉チーム

被災地域の高齢者福祉施設において、施設利用者等の支援を行う専門チームで、全国  
老人福祉施設協議会が設置している会員相互支援の仕組み
- 福 サ ポ…石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター
- I L A C…いしかわ就職・定住総合サポートセンター
- 各種部会・協議会（県社協定款34条に基づく内部組織）
  - ・ 経 営 協…石川県社会福祉法人経営者協議会
  - ・ 老 施 協…老人福祉施設協議会
  - ・ 保育部会
  - ・ 保育士会…保育部会保育士会
  - ・ 児童養護…児童養護協議会
  - ・ 障害福祉施設部会
  - ・ セルブ協…石川県社会就労センター協議会
  - ・ セルブ振興センター
  - ・ 県民児連…石川県民生委員児童委員協議会連合会
- 業務受託団体（本会に事務局を有する団体）
  - ・ デ イ 協……………石川県デイサービスセンター協議会
  - ・ 包括・在介協…石川県地域包括・在宅介護支援センター協議会
  - ・ 日 保 協……………日本保育協会石川県支部
  - ・ 推進連盟……………石川県保育推進連盟
  - ・ ヘルパー協…………石川県ホームヘルパー協議会
  - ・ ケアマネ協…………石川県介護支援専門員協会



## 1

# 令和6年能登半島地震および 奥能登豪雨の被害状況

## (1) 令和6年能登半島地震について

### ① 概要（令和6年5月8日 県災害対策本部員会議資料より）

- ア 発生時刻 令和6年1月1日 16時10分頃  
 イ 震源地 石川県能登地方（震源の深さ ごく浅い）  
 ウ 震源の深さ 約16km  
 エ 地震の規模 マグニチュード7.6  
 オ 各地の震度  
 震度7 志賀町、輪島市  
 震度6強 七尾市、珠洲市、穴水町、能登町  
 震度6弱 中能登町  
 震度5強 金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、  
 宝達志水町  
 震度5弱 白山市、津幡町、内灘町  
 震度4 野々市市、川北町

※令和6年1月16時06分頃に能登地方を震源としたマグニチュード5.7、最大震度5強の地震が発生

### カ 津波発生状況

- ・ 1日 16時12分 津波警報発表（石川県加賀、石川県能登）
- ・ 1日 16時22分 大津波警報に切り替え（石川県能登）
- ・ 1日 20時30分 津波警報に切り替え（石川県能登）
- ・ 2日 1時15分 津波注意報に切り替え（石川県加賀、石川県能登）
- ・ 2日 10時00分 津波注意報解除（石川県加賀、石川県能登）

### ② 人的・建物被害の状況（県危機対策課 令和6年能登半島地震による人的・建物被害の状況について 第198報 令和7年3月31日（月）より）

#### ア 人的被害

市町名	人的被害（人）					
	死 者	うち災害 関連死※	行 方 不 明 者	負 傷 者		小 計
				重 傷	軽 傷	
金 沢 市	1	1			9	10
七 尾 市	50	45		34	3	87
小 松 市	1	1		1	1	3
輪 島 市	204	103	2	213	303	722
珠 洲 市	165	68		47	202	414
加 賀 市						
羽 咋 市	5	4			7	12

市 町 名	人 的 被 害 (人)					
	死 者	うち災害 関連死※	行 方 不 明 者	負 傷 者		小 計
				重 傷	軽 傷	
か ほ く 市						
白 山 市	1	1			2	3
能 美 市				1		1
野々市市					1	1
川 北 町						
津 幡 町				2		2
内 灘 町	6	6		6		12
志 賀 町	20	18		19	97	136
宝達志水町						
中能登町	2	2		5	1	8
穴 水 町	47	27		33	225	305
能 登 町	60	58		30	25	115
計	562	334	2	391	876	1,831

※災害関連死：当該災害による負傷の悪化又は避難生活等における身体的負担による疾病により死亡し、災害弔慰金の支給等に関する法律（昭和48年法律第82号）に基づき災害が原因で死亡したものと認められたもの

#### イ 住家被害

市 町 名	住 家 被 害 (棟)					
	全 壊	半 壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	小 計
金 沢 市	32	251	20,355			20,638
七 尾 市	515	4,994	11,283			16,792
小 松 市	1	80	11,529			11,610
輪 島 市	2,310	3,954	4,327			10,591
珠 洲 市	1,754	2,091	1,755			5,600
加 賀 市	14	54	7,121			7,189
羽 咋 市	62	487	3,440			3,989
か ほ く 市	9	246	3,211			3,466
白 山 市			1,674			1,674
能 美 市	1	13	3,137			3,151
野々市市			1,517			1,517
川 北 町			69			69
津 幡 町	9	83	3,511			3,603
内 灘 町	124	564	2,338			3,026
志 賀 町	562	2,470	4,419	6	5	7,462
宝達志水町	12	78	1,787			1,877
中能登町	56	904	3,372			4,332
穴 水 町	387	1,289	1,647			3,323
能 登 町	269	992	4,511			5,772
計	6,117	18,550	91,003	6	5	115,681



## (2) 令和6年奥能登豪雨について

### ① 概要（石川県HP 県災害対策本部員会議資料、被害報告等より）

【低気圧と前線による大雨（令和6年9月20日～22日）】

#### ア 被害の状況（11月1日時点）

死者15人、負傷者47人、建物全壊54棟、建物半壊433棟

#### イ 孤立集落（9月23日時点）

輪島市8地区40カ所、珠州市4地区14カ所、能登町2地区2カ所

#### ウ 避難所開設、避難者数（9月23日時点）

輪島市23カ所536人、珠州市18カ所92人、能登町1カ所4人

#### エ 災害救助法の適用

七尾市、輪島市、珠州市、志賀町、穴水町、能登町

#### オ 激甚災害の指定

10月25日閣議決定、10月30日公布・施行

（輪島市については局地激甚災害指定を受け、中小企業信用保険法による災害関係保証の特例が適用）

### ② 人的・建物被害の状況（県危機対策課 令和6年奥能登豪雨による被害等の状況について 第49報 令和7年3月25日（火）より）

#### ア 人的被害

市町名	人的被害（人）				
	死者	行方不明者	負傷者		小計
			重傷	軽傷	
七尾市					
輪島市	11		1	34	46
珠洲市	3			9	12
内灘町					
志賀町					
穴水町					
能登町	2		1	2	5
計	16		2	45	63

#### イ 住家被害

市町名	住家被害（棟）					
	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	小計
七尾市					3	3
輪島市	68	579	66	51	427	1,191
珠洲市	14	64	11	18	229	336
内灘町					1	1
志賀町						
穴水町						
能登町		6	60		218	284
計	82	649	137	69	878	1,815

# 2

## 石川県社会福祉協議会の初動対応

日 付	内 容
1月1日（月）	・ 16時10分発災（最大震度7）
	・ 県社協職員参集、安否確認
	・ 市町社協の災害時連絡担当者への連絡、情報収集
	・ 社会福祉施設・事業所の被災状況確認（各種別協）
	・ 全社協へ報告
1月2日（火）	・ 各市町社協への派遣準備 →水、食料、ガソリン給油等、被災地訪問の準備 →派遣者への社協訪問時の確認事項のレクチャー
	・ 震度6以上で連絡の取れた七尾市、中能登町、羽咋市、宝達志水町社協に職員派遣
	・ 道路の被害状況により、能登北部等は電話で現状を確認
	・ 加賀市社協より災害VC立上げ支援依頼があり、職員を派遣
	・ 県社協内各種窓口、役割の整理・分担
	・ 被災施設の食料等の支援ニーズに応えるため、金沢以南の高齢者施設に対し提供可能物資等を調査（老施協）
	・ 全社協へ、全社協職員と支援Pの派遣を要請
	・ 生活福祉資金特例貸付の準備
1月3日（水）	・ 震源地に近い輪島市、穴水町、七尾市、志賀町に現地視察職員派遣 →金沢と能登半島をつなぐ主要道路の通行止めにより、交通渋滞が発生。金沢から輪島へは通常2時間程度で到着するが、5時間以上かけても辿り着くことができなかった。
	・ 災害VC立上げ支援のため、加賀市社協に職員派遣
	・ 上記以外の市町について、現状確認や災害VC開設に向けた動き等について随時確認
	・ 支援Pが県社協入り
	・ ボランティア保険において大規模災害特例が適用されるよう全社協へ依頼
	・ 東海北陸ブロック社協に対し応援職員派遣要請の相談
	・ 被災施設利用者の広域避難を念頭に、金沢以南の高齢者施設に対し、利用者の受入れ可能人数等の調査を実施（老施協）
1月4日（木）	・ 志賀町、加賀市社協に職員派遣
	・ 全社協職員が県社協入り
	・ 県共同募金会が義援金受付開始



日 付	内 容
1月5日（金）	・ 穴水町、加賀市社協へ職員派遣
	・ 東海北陸ブロック幹事（福井県社協）が県社協入り
	・ 全社協、支援P、中央共同募金会、東海北陸ブロック社協によるブロック情報共有会議の開催 → 県内の状況や県民ボランティアセンター等について県社協より説明
	・ 災害VCで使用する資機材等の調達方法等について市町社協と共有
	・ 県社協における各市町社協の災害VC立上げ支援担当者を決定
1月6日（土）	・ 加賀市社協へ職員派遣
	・ 1.5次避難所の開設にあたり、石川県DWA Tチーム員派遣者の調整
	・ 奥能登地域の高齢者施設利用者の一斉避難が始まり、受入れ調整コーディネーターとしてケアマネジャーを県保険医療福祉調整本部へ派遣（ケアマネ協）
1月8日（月）	・ 災害VC立上げ支援のため、志賀町、宝達志水町社協に職員派遣
	・ 石川県県民ボランティアセンターとの情報共有会議 → ボランティアの受入れ、ボランティアバスの調整等について説明
	・ 1.5次避難所が開設され、石川県DWA Tチームを派遣
	・ 高齢者施設等に対する支援体制会議への参加
1月9日（火）	・ 七尾市、穴水町社協へ職員派遣
	・ 各市町社協支援の担当者向けに説明会を開催 → チームで支援する体制を職員間で共有
	・ オンラインで県内全市町と情報共有会議を開催 → 各市町社協より状況報告
	・ 全国老施協DWA Tの派遣を要請（老施協）
1月10日（水）	・ 珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町、中能登町、羽咋市、かほく市、津幡町社協に職員派遣 → すべての市町社協の訪問が完了
	・ 災害対応ブロック幹事県・市社協会議開催 → ブロック幹事県・市社協に向けて、新潟県、富山県、石川県が報告を行った
	・ 市町社協へ職員派遣依頼
	・ 種別を横断した会議を開催し、県社協部会・協議会「福祉施設支援チーム」を立上げた
	・ 1.5次避難所キッズスペースに、保育士会ボランティア派遣（保育士会）
	・ オールこども石川において被災地支援金と物資の募集開始（保育部会、日保協など）
1月11日（木）	・ 志賀町、七尾市、内灘町社協へ職員派遣

日 付	内 容
1月12日（金）	・七尾市、穴水町、内灘町、かほく市社協へ職員派遣
1月13日（土）	・穴水町社協へ職員派遣
1月14日（日）	・珠洲市、宝達志水町社協へ職員派遣
1月15日（月）	・珠洲市、七尾市、中能登町、羽咋市、宝達志水町社協へ職員派遣
	・市町社協職員の派遣開始
	・令和6年能登半島地震に伴う東海北陸ブロック情報共有会議の開催 →現地社協の状況、応援スキームの共有
1月16日（火）	・輪島市、珠洲市、七尾市、内灘町、中能登町、羽咋市、宝達志水町社協へ職員派遣
1月17日（水）	・輪島市、七尾市、穴水町、かほく市、宝達志水町社協へ職員派遣
1月18日（木）	・輪島市、七尾市、志賀町、羽咋市、宝達志水町社協へ職員派遣
	・市町社協情報共有会議の開催 →市町社協・災害VCの状況を共有 →広域避難の被災者支援に係る各市町社協の動きを共有 →今後の職員派遣や被災者支援活動費等について説明
	・東海北陸ブロック応援社協派遣者情報共有会議 →県社協から、各市町社協の状況と必要な支援について報告 →全体会議後、派遣先の市町に分かれて詳細な情報を共有
1月19日（金）	・輪島市、珠洲市、能登町、中能登町、志賀町、七尾市、羽咋市、野々市市、白山市社協へ職員派遣
	・ブロック社協職員の派遣開始
	・災害対応ブロック幹事県・市社協会議開催 →全国の社協に対しブロック応援職員派遣要請の相談

※1月20日（土）以降は、全国の各ブロック社協の応援を得ながら、本格的な被災市町社協支援を開始



# 3

## 災害ボランティアセンター運営にかかる取り組み

### (1) 市町災害VC立上げ支援

発災直後、「県社協災害対策本部」を設置。市町社協との「災害時における相互支援協定」(H23)に基づき、各初動担当者が被災地社協に連絡し、情報の共有および集約を行うとともに、多くの本会職員が現地へ赴いた。

以降、先遣チームを派遣し、現地状況の確認や災害VC設置に向けて協議した結果、12市町社協で災害VCを設置することとなった(1町は通常VCで対応)。

1月中に12市町社協が災害VCを設置したが、被災状況等により、活動開始が2月になった社協もあった。

立上げ支援にあたっては本会職員のみならず、全社協や東海北陸ブロック内の社協からの応援、支援P等の協力を得て、情報提供や助言等を行った。また、災害VCの運営に必要な資機材の調達のため、関係機関・団体との連絡調整を行った。

市 町 名	開 設 日	活動開始日
加 賀 市	令和6年1月3日(水)	令和6年1月6日(土)
内 灘 町	令和6年1月4日(木)	令和6年1月6日(土)
穴 水 町	令和6年1月10日(水)	令和6年1月10日(水)
羽 咋 市	令和6年1月12日(金)	令和6年1月13日(土)
宝 達 志 水 町	令和6年1月9日(火)	令和6年1月17日(水)
能 登 町	令和6年1月6日(土)	令和6年1月26日(金)
志 賀 町	令和6年1月9日(火)	令和6年1月26日(金)
七 尾 市	令和6年1月10日(水)	令和6年1月27日(土)
中 能 登 町	令和6年1月15日(月)	令和6年1月30日(火)
珠 洲 市	令和6年1月2日(火)	令和6年2月3日(土)
か ほ く 市	令和6年1月22日(月)	令和6年2月7日(水)
輪 島 市	令和6年1月25日(木)	令和6年2月10日(土)

※津幡町は通常VCにおいて対応(災害関連については1月11日より開始)

### (2) 市町災害VCへの応援職員の派遣要請

職員の被災等により災害VCを運営する人員が不足したため、県内外の社協および企業に対して応援要請を行った。応援先では、主にVC内でマッチングや現地調査等の業務を分担した。

＜派遣実績＞

- ① 県内社協 延べ1,204人(～R7.3月)
- ② 東海北陸ブロック社協 延べ4,044人(～R6.12月)
- ③ 全国ブロック社協 延べ9,836人(～R6.12月)
- ④ 企業(生協、トヨタ、イオン、連合、JC等)(～R6.12月)

※職員派遣以外に資機材等の提供もあり。

### (3) 災害VC情報交換会の開催

県内市町社協同士の情報共有や目線合わせ、県本部からの情報提供等を目的とし、テーマごとに計13回の情報交換会を開催した。

テーマ（抜粋）：災害VCの開設状況・課題整理、広域避難の被災者支援に係る社協の動き、被災市町社協への支援職員派遣など

### (4) ボランティア活動保険の受付等

災害ボランティア活動をするため保険加入する方の受付業務および市町社協受付分の集計を行った。

併せて事故・怪我のあった保険加入者との連絡調整および保険会社への報告を行った。

- ・ 県社協受付者数……R 5 年度： 1,996名、R 6 年度： 2,043名
- ・ 市町社協受付者数…R 5 年度：11,299名、R 6 年度：18,986名

### (5) 情報発信

「令和 6 年能登半島地震および奥能登豪雨に関するボランティア等情報」として、県内災害VC活動状況の定期発信を行った。（No.1～No.59 R 7. 3 月末時点）

- ・ 内 容：開設日、ボランティア活動開始日、開設場所、ボランティア募集範囲、主な活動内容、ニーズ状況、ボランティア活動状況、災害VC派遣職員状況、その他特記事項など
- ・ 発信先：県内市町社協、全社協、中央共同募金会、東海北陸ブロック災害応援協定北陸幹事県（福井県社協）、（公財）石川県県民ボランティアセンター、石川県厚生政策課、県社協全職員

### (6) 全社協、支援Pとの連携

発災直後の初動対応や市町災害VCの立上げ、運営支援等のために、全社協に職員および支援Pの派遣を要請した。

＜連携内容＞

- ・ 全社協 発災直後から、R 6. 3 月末まで職員 1 名が常駐し、災害対応への助言を受けた。
- ・ 支援P 発災直後から、県社協および奥能登地域（主に輪島市、珠洲市）を中心に運営支援者が常駐し、災害VCの運営について助言を受けた。

### (7) 県災害対策ボランティア本部内の連携（県域定期ミーティングの開催）

本部員である（公財）県民ボランティアセンターをはじめ、その他の関係機関（全社協や支援Pなど）とのミーティングを定期的 to 実施。

災害対策ボランティア現地本部の状況（人員体制、資機材等）について随時情報の共有、課題解消に向けて協議をした。



# 4

## 生活福祉資金特例貸付の実施

### 福祉資金「緊急小口資金」特例貸付（以下、緊急小口資金）

#### （１）開始までの動き

- 1月1日

参集職員での打合せで、被害状況から緊急小口資金実施が見込まれるため、翌日から情報収集に取り掛かることを申し合わせた。

- 1月2日～1月21日

2007年能登半島地震の緊急小口資金様式や他県事例、全社協作成「大規模災害時における緊急小口資金特例貸付実施の手引き」を基に要領や様式等の準備を開始。

全社協と過去の災害時における、緊急小口資金のスキームを確認したほか、被災地域の状況報告や需要見込み等について打合せをした。

県より厚生労働省から生活福祉資金貸付原資保有額の確認があった旨連絡受けた。

各市町の状況確認を行った（申込受付開始時まで試行錯誤した）。

市町社協から貸付開始にあたっての不安点、貸付需要について随時確認を行った。

借入相談・申込が多いと思われる市町社協に聞き取り、貸付開始までの意見聴取。

この間、県からは1日も早く受付開始するよう要請があった。特に1.5次避難所や2次避難所においては、災害により住家を失い、何も持たず避難をしている方が多いため、早急な対応が必要とのことであった。

全社協に、全国の社協への応援要請を行った。

- 1月9日

国が緊急小口資金に係る通知発出

- 1月10日、11日、12日、16日

県、全社協、県社協の3者による打合せを行い、避難所における緊急小口資金の周知・受付方法、通知やQ Aの整理、県外社協の応援派遣依頼について確認した。

- 1月18日

市町社協情報共有会議において、貸付開始に向けての説明を行った（オンライン）。

全社協生活福祉資金貸付事業支援室長も同席。

今後のスケジュール、全国からの応援社協行動スケジュールの確認を行った。

県と協力し、1.5次避難所にチラシ配布、相談窓口を設置した。

- 1月21日

県外からの応援社協第1クール到着

県内被災状況および緊急小口資金にかかる説明と今後のスケジュールについて確認をした。

## (2) 貸付要件、借入申込から審査、決定、送金までの流れ

### ① 貸付要件等

チラシ掲載内容	
●貸付対象	令和6年能登半島地震による災害救助法の適用になった地域にお住まいの被災された方で、当座の生活費を必要とする世帯
●貸付限度額	原則として、一世帯に10万円。ただし、以下の場合は、一世帯につき20万円の貸付も可能。(いずれも1回限り) ① 世帯員の中に被災による死亡者がいる場合 ② 世帯員に要介護者がいる場合 ③ 4人以上の世帯である場合 ④ 世帯員に被災による重傷者や妊産婦、学齢児童がいる場合
●据置期間	貸付の日から1年以内
●償還期間	据置期間終了後2年以内
●貸付利子	無利子 * 償還期限後は残元金に対して年3.0%の延滞利子が発生します。
貸付に必要なもの	
○身分を証明できるもの(運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード 等)	
○申込者の預金通帳又はキャッシュカード ※いずれも準備できない場合は、応相談	

### ② 借入申込から審査、決定、送金までの流れ(資料編④参照)

借入申込から10日以内に送金することとしていたが、実際には5日程度で送金。  
預金通帳、キャッシュカードの不所持も想定していたが、現金交付3世帯のみ。

## (3) 借入申込受付開始

### ① 1月22日より準備の整った市町社協から順次、受付開始

### ② 県外応援社協とともに、1.5次避難所、加賀市、小松市、金沢市内の2次避難所での対応開始

＜全国からの応援派遣期間＞

1月22日～3月1日(40日間) 延べ76人

派遣先(各市町社協事務所、支所窓口や特設会場における受付相談窓口)

珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町、七尾市、羽咋市、宝達志水町、内灘町、小松市、加賀市 11か所

- ・第1クールは、主に1.5次避難所での借入相談ブースや加賀市、小松市、金沢市内の2次避難所でのチラシ配布や借入相談窓口設置、対応した。
- ・第2クールからは奥能登市町へ派遣開始。ライフライン、宿泊確保できず社協事務所等に泊り込み、窓口開設準備および相談窓口対応を行った。

### ③ 1月22日から31日までの10日間で約300件の借入申込あり。



## (4) 貸付決定

貸付決定 1,786件、貸付金額 241,420,000円（令和7年3月末時点）



1.5次避難所



2次避難所



各市町窓口

## 福祉資金「住宅補修費・災害援護費」特例貸付（以下、住宅補修費・災害援護費）

### (1) 開始までの動き

- ・ 2月27日 国が住宅補修費・災害援護費に係る通知を発出。要綱および問答集作成
- ・ 4月19日 市町社協生活福祉資金担当者オンライン説明会を実施し、同日受付開始

### (2) 貸付要件等

- 貸付対象 令和6年能登半島地震により災害救助法の適用となった地域及び被災したため特例措置が必要な地域として設定された地域に住所を有し、本資金を必要とする低所得世帯（被災により低所得者世帯となった場合も含む）、障害者世帯、高齢者世帯
- 据置期間 貸付の日から2年以内
- 償還期間 据置期間終了後20年以内

※申し込みにあたっては、民生委員調査書を不要とし、その他の貸付要件は、本則の「住宅補修費・災害援護費」に準じる。

また、生活福祉資金運営委員会にて、貸付の可否を審査する。

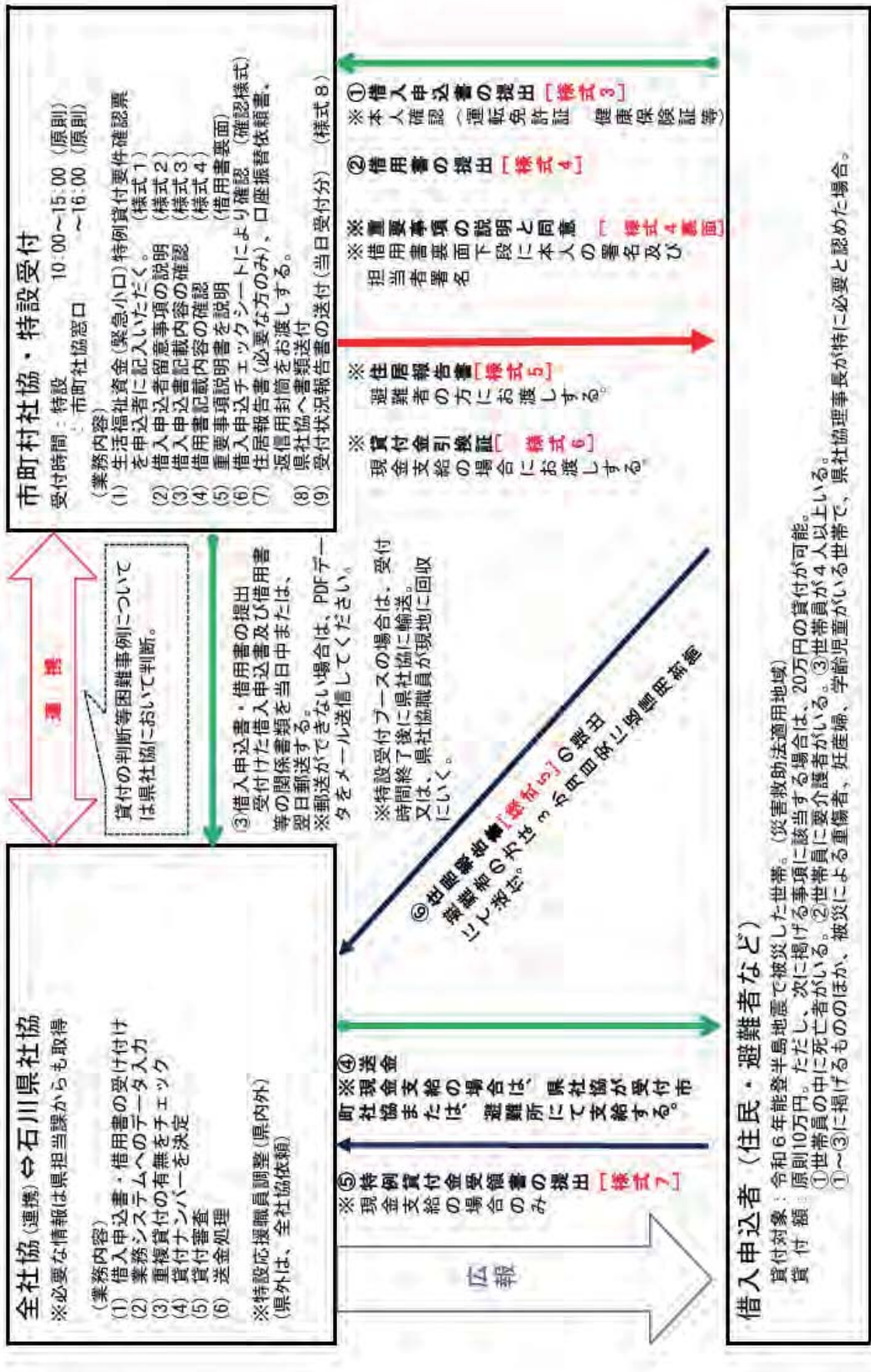
### (3) 貸付決定

貸付決定 5件、貸付金額 5,088,000円（令和7年3月末時点）

令和7年度も、緊急小口資金、住宅補修費、災害援護費の貸付継続中。

# 石川県生活福祉資金緊急小口資金（特例貸付）事務取扱フロー

【別紙3】





# 5

## 石川県災害派遣福祉チーム (石川県DWA T) の動き

県からの依頼を受け、1月6日よりチーム員への派遣要請をメール等で行い、活動にかかるシフト表の作成などを行った。

1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）や被害の大きかった能登の6市町で全国のDWA Tチームが活動し、石川県DWA Tについては、当時のチーム員191人のうち61人が活動に参加した。

また、今回初めて全国から1,200人を超えるチーム員が石川県に派遣され活動した。

### <石川県DWA T派遣実績の概要>

- ・派遣期間 1月8日～6月30日
- ・派遣場所
  - ① 1月8日～2月22日および3月29日～6月30日  
場所：1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）
  - ② 2月22日～3月14日  
場所：七尾市 和倉小学校
  - ③ 3月15日～23日  
場所：DWA T本部（県庁）
- ・活動人数 61人

【参考】令和6年能登半島地震におけるDWA T活動（県厚生政策課より資料提供）

### (1) 活動の展開

活動開始日	活動終了日	活動エリア	活動場所	活動形態
1/8	6/30	金沢市	1.5次避難所	常駐
1/12	2/16	七尾市	中島小学校	常駐
1/14	3/16	志賀町	富来活性化センター	常駐
1/14	2/29	能登町	避難所等の環境整備等	常駐
1/16	2/21	七尾市	御祓地区コミュニティセンター	常駐
1/18	2/16	七尾市	西湊地区コミュニティセンター	巡回
1/18	1/20	能登北部	2市2町先遣隊派遣	巡回
1/24	3/16	志賀町	文化ホール（2/29～巡回）	巡回
1/25	3/16	七尾市	和倉小学校（3/6～巡回）	巡回
2/1	2/28	七尾市	矢田郷地区コミュニティセンター	巡回
2/2	3/16	志賀町	地域交流センター	巡回
2/5	3/16	七尾市	山王小学校	巡回

活動開始日	活動終了日	活動エリア	活動場所	活動形態
2/8	2/8	志賀町	富来地区避難所	巡回
2/17	2/21	輪島市	輪島・門前地区避難所	巡回
2/22	3/16	輪島市	輪島・門前中学校	常駐
2/25	2/29	穴水町	一般避難所巡回	巡回
3/1	3/16	輪島市	鳳至・大屋小学校	常駐
3/9	3/24	珠洲市	一般避難所巡回	巡回
3/17	3/20	輪島市	一般避難所（6カ所）	常駐
3/21	3/29	輪島市	一般避難所（10カ所）	常駐
3/25	3/29	輪島市	一般避難所（7カ所）	巡回

## (2) 活動内容

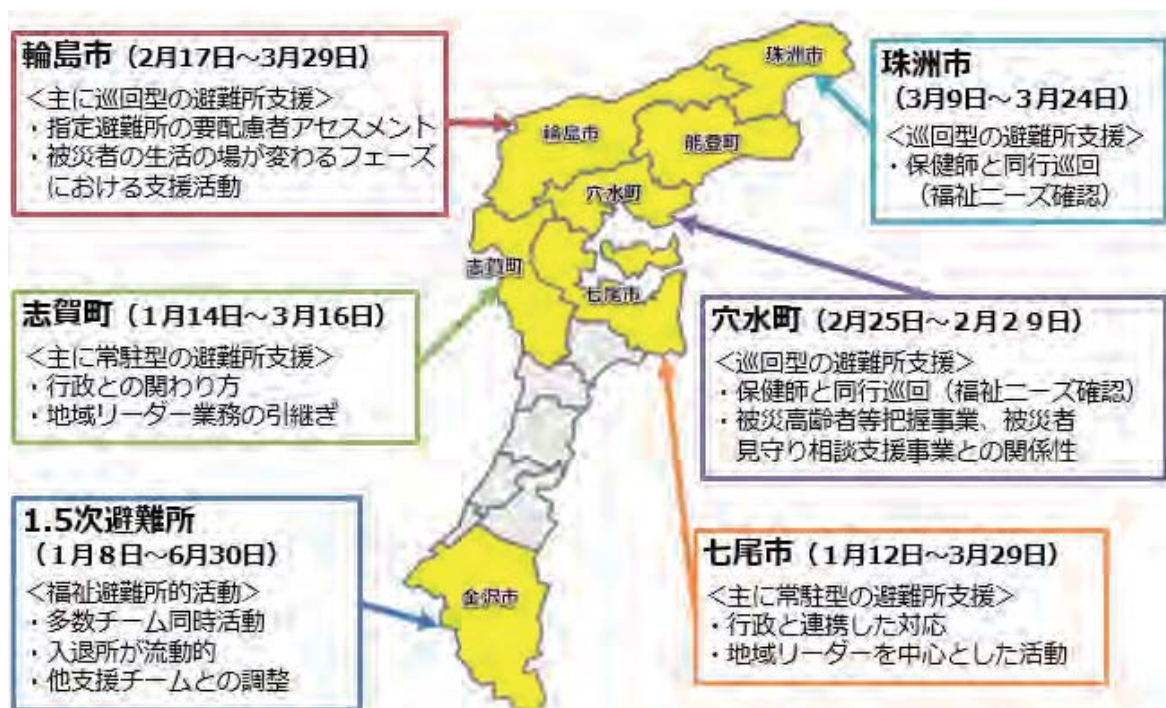
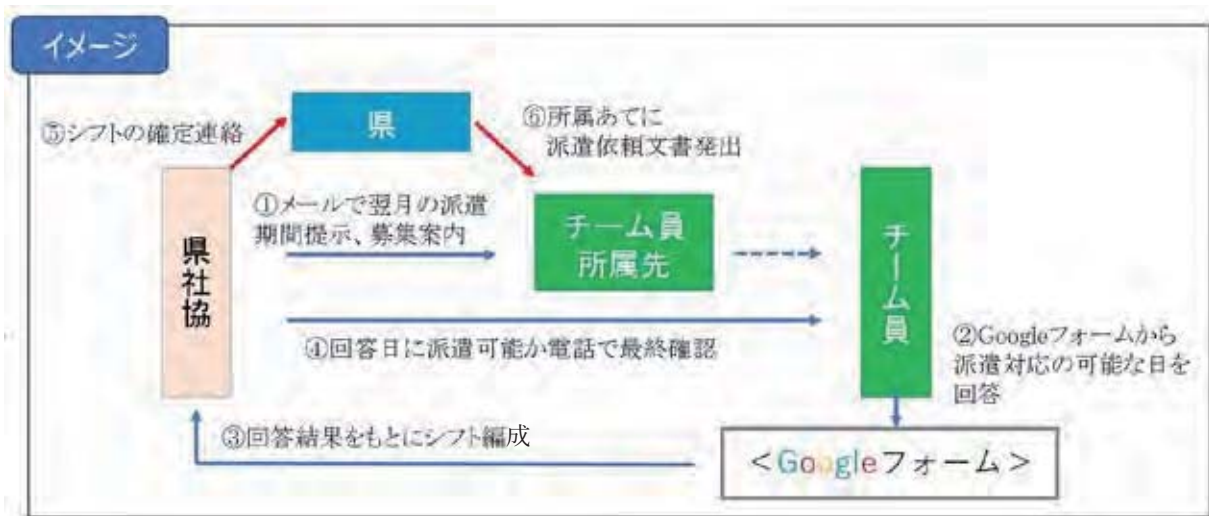
- ① 1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）における主な活動
  - ・要配慮者への体調確認等についてのアセスメント  
（保健師同行又は保健師からアセスメントを依頼されたケース等）
  - ・2次避難所等への移動において、福祉的な支援が必要な方への対応
  - ・他支援チームと連携した日常生活支援
  - ・なんでも相談ブースでの相談対応
- ② 七尾地域における主な活動
  - ・先遣活動、避難所常駐および常駐避難所を拠点に避難所巡回
  - ・D W A T活動終了に向けた七尾市との連携（地元への引継ぎ）
- ③ 志賀地域における主な活動
  - ・志賀地区・富来地区のそれぞれ規模の大きい避難所に常駐支援を実施し、常駐避難所を拠点に周辺の避難所を巡回支援
  - ・志賀町との連携（地元への引継ぎ）
- ④ 穴水地域における主な活動
  - ・保健師等と避難所巡回し、福祉的な支援が必要な方の確認を実施
- ⑤ 輪島地域における主な活動
  - ・指定避難所の要配慮者の状況を把握



### ＜派遣手順＞

県内の派遣調整→石川県から県社会福祉協議会に委託

※他都道府県の派遣調整は厚労省から委託を受けた全国社会福祉協議会が実施





# 6

## 社会福祉施設等への支援状況について

### (1) 被災した社会福祉施設等の財政面や職員雇用等の相談支援、見舞金制度などの情報提供

- ① 経営指導事業専門相談員による訪問相談等の実施  
中小企業診断士や社会保険労務士等の専門相談員が訪問等を行い、財政面や職員雇用等の経営課題に対する相談を行った。
- ② 情報提供の実施  
被災施設において、物資が不足した場合の連絡先等の情報を本会ホームページで提供した。
- ③ 要望書の提出
  - ・ 5月10日付で、各種別協議会との連名にて、厚労大臣へ要望書「令和6年能登半島地震地域での暮らしを支え、守るための緊急要望～福祉インフラの復旧・復興なくしてコミュニティの再生なし～」を提出した。
  - ・ 4月27日開催の公明党石川県本部「団体政策要望懇談会」にて、各種別協議会との連名で「令和6年能登半島地震の被災者を支え、復興に向かうための要望」を提出した。

### (2) 被災した社会福祉施設等への人的・物的支援など

本会には、定款34条に基づく各種別部会・協議会と本会に事務局を有する業務受託団体があり、本会職員が、各部会・協議会や業務受託団体の事務を行っている。これらの各部会・協議会において、人的支援や物資支援などを行った。

今回の地震においては、R6.1.10、県社協内部組織である各種別協議会を構成メンバー（のちに知的障害者福祉協会も加入）とし、各種別部会・協議会の総意のもと、情報共有と支援方法等について協議することを目的に「石川県福祉施設支援チーム」を立ち上げ、物資支援などを行った。

また、県内4つの保育団体（石川県保育部会、日本保育協会石川県支部、石川県認定こども園協会、石川県私立保育園連盟）が協働し、オールこども石川を結成。被災した保育施設および被災地の子供とその保護者への支援活動（物資支援、支援金等）を実施した。

#### ① 人的支援（1.5次避難所および社会福祉施設等）

経営協	1.5次避難所に避難する要介護高齢者へのケアを行う介護職員が不十分とのことで、全国経営協からブロック経営協への派遣要請があり、順次支援にあたる中、マネジメントを行う人材が必要とのことで、会員に依頼し、4～6月に延べ18人（実数8人）が協力した。
老施協	1月12日～（継続中）、被災施設および被災施設から避難してきた施設利用者の受入施設に対し、全国老施協DWA Tを派遣した。 派遣施設 11施設、派遣人数 345名（1人あたり5日間）

	 
保育士会	1月10日～2月10日まで、1.5次避難所に設置されたキッズスペースへ保育士延べ179名を派遣
ケアマネ協	県からの委託により、会員を中心とするケアマネを1.5時避難所へ派遣し、被災者へのアセスメントおよび避難先へのマッチング業務に協力した。また、11月からは広域避難高齢者等受入調整事業へ協力した。
ヘルパー協	1月14日～3月2日まで、1.5次避難所に延べ12名を派遣

## ② 物資支援

福祉施設支援チーム	金沢市内の拠点施設において物資の仕分け作業を行った。また、金沢市内の拠点施設から、被災地域の拠点施設まで、物資の運搬を行った。
オールこども石川	1月10日～1月31日まで、飲料水や紙おむつ、粉ミルク等の必要物資を全国の保育施設等へ呼びかけし、30トンを超える物資の寄付を受けた。9回にわたり、七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町の保育施設へ物資を運搬、また、保育施設50か所を通じて被災した子育て家庭への子供用おむつを提供した。
老施協	水や衛生品などの物資支援の要請を受けたが、道路事情の改善等もあり、ある程度物資支援がいきわたるようになってきたため、2月16日の役員会において、物資に代えてお見舞金を支給することとした。被害の大きかった中能登以北の7市町の会員施設に対し、1施設あたり10万円の見舞金を支給（総額280万円）
児童養護	会長が中心となり、被災した会員施設で不足している物資をその他の会員施設から提供を受け、被災施設へ届けた。

## ③ 義援金等の募集および配分

オールこども石川	1月10日～12月31日まで、全国の保育施設等へ呼びかけし、2億3千万円を超える支援金をいただいた。被災された県内保育施設の職員や避難が必要な子どもへの見舞金等として配分を行っている（配分済額 13,356万円）。
経営協	全国経営協にて、令和6年能登半島地震の復興・普及支援活動等を目的に、「特別年会費」の納入を都道府県経営協に呼びかけた。そのうち2,000万円の配分を受け、能登地域6市町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）に事業所を有する会員29法人に配分した。同時に、岩手県経営協からの義援金も特別年会費と合わせて配分をした。

老施協・デイ協	2月21日～3月29日まで、石川県内（中能登以北の7市町を除く）の会員施設に対し、義援金を募集した。また、全国老施協、他県老施協、県外の高齢者施設等から多くの義援金を受け取った。これらの義援金は、中能登以北の7市町の会員施設に配分をした。 配分額：老施協 7,067万円 デイ協 2,350万円
包括・在介協	全国地域域包括・在宅介護支援センター協議会より、建物等被害のあった19センターに対しお見舞金が支給された（総額19万円）。併せて、県協議会からも見舞金を支給した（総額38万円）。合計総額57万円
保育部会・日保協	10月18日～11月30日まで、豪雨災害の被災保育所・認定こども園の支援のための募金活動を行い、415万円の寄付を受けた。今後、被害状況を確認し、配分を行う予定。
推進連盟	全国保育推進連盟が加盟園から募った義援金より、30施設に合計240万円の義援金が配分された。
セルフ協	全国社会就労センター協議会はじめ、全国の関係団体よりいただいた義援金を、中能登以北の7市町の会員施設5施設へ配分した。
ヘルパー協	全国ヘルパー協の協力等で支援金を募り、351,540円を奥能登中心に7事業所へ配分した。
県民児連	全国の都道府県・市町村の民児協から県内の民生委員に対する見舞金を受け取った。県内19市町の民児協のうち、17市町民児協に対し配分した。


#### ④ 被災施設の事業運営支援

セルフ振興センター	他県から県内の就労支援施設の応援の申出があり、セルフ商品を紹介し販売の協力を得た。 また、3市4町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町）に所在する会員施設および非会員施設のセルフ商品販売ブースを「セルフの店ゆい」に設置し、「能登地区応援販売」を実施した。
-----------	---

#### ⑤ 被災状況把握（アンケートや調査票による調査、訪問による調査等）

福祉施設支援チーム	①2月に、経営協会員法人あてに「被災状況、支援要請、ベースキャンプ情報」収集のための調査を実施した。対象を同じくして、8月にも発災から8ヵ月経過後の状況等について調査を実施した。 ②同月に、奥能登2市2町に事業所を有する社会福祉法人（主に経営協会員）を対象に「能登地区法人経営者定期意見交換会」を実施した。 ③5月に、全国経営協とともに被災施設を訪問し、現状や課題などの聴き取りを行った。
オールこども石川	県と協力して県内保育施設への被災状況のアンケート調査を実施した。
経営協	7月に、会長が能登地域7市町（七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、穴水町、能登町）に会員法人が有する施設・事業所を訪問し、現状や課題等を聞き取りした。



老施協	<p>発災後すぐに、会員施設（被災施設）等の被害状況の把握を実施した。連絡が取れない施設については、県や他の団体等と協力して実施した。</p> 
老施協・デイ協	2月1日に、全国老施協より、義援金の配分にかかる被災状況調査依頼があり、改めて会員施設の被災状況調査を実施した。
児童養護	1月に、会長を中心に被災施設の状況把握を行った。
セルプ協	1月に、会員施設の被災状況把握を行った。
日保協	会員施設に対して被害状況調査を実施した。
包括・在介協	会員センターに対して、被害状況調査を実施した。
県民児連	<p>① 1月1日に、県民児連理事に対して配布したタブレットを使用し、本人および地区の民生委員の安否確認を実施した。</p> <p>② 1月7日に、各市町民児協事務局に対して、地区の民生委員の安否確認、地域の被害状況確認を実施した。</p>

## ⑥ 国・県等への要望活動の実施

経営協・老施協・デイ協	4月12日に、厚生労働省老健局へ「『社会福祉施設等災害復旧費国庫補助金』に係る事務手続きの負担軽減等に関する要望」を提出した。
経営協	知事との懇談会において、「能登の介護・福祉人材の確保」について要望した。
老施協	<p>① 12月25日に、知事へ「高齢者施設等の復旧支援に関する要望」を提出した。</p> <p>② 知事懇談会において、「施設の防災・事業継続体制の強化」について要望した。</p>
保育部会	知事との懇談会において、「災害時の保育施設への支援体制の強化」について要望した。
児童養護	知事との懇談会において、「災害時の児童養護施設の体制強化」について要望した。
セルプ協	知事との懇談会において、「被災した障害者就労支援施設に対する商品・役務の発注、販売機会の確保などの支援」について要望した。

## ⑦ 情報提供の実施

各種別協議会	全国組織およびブロック単位で行っている見舞金制度の情報を提供し、各会員からの申請を受付けた。
老施協	福祉医療機構が実施する貸付や相談会にかかる情報を提供した。
老施協・デイ協	総会等において、災害復旧補助金等にかかる情報を提供した。
県民児連	県民児連理事および各市町民児協事務局へ、全民児連が実施する全国民生委員互助共励事業のうち「災害見舞金」にかかる情報を提供した。

## ⑧ 職員のメンタルケア

保育部会・保育士会	震災がもたらす心理的な影響やその対応のあり方を学び子ども・保護者・保育者の心の健康を守ることを目的に、2月19日に「大規模自然災害と子ども・保護者・保育者の心の問題と対応」をテーマに研修を実施した。
日保協	震災の経験や違う環境での生活等で心のケアが必要な子どもたちへのかかわり方や支え方を学ぶことを目的に、5月10日に「発災から中長期の子どもへの心のケア」をテーマに研修を実施した。
保育士会	県・福サポ・日保協青年部と合同で、輪島市、珠洲市、能登町の保育従事者を対象に保育ホッとサロンを実施した。



## ⑨ 会員施設間の情報共有

オールこども石川	2月21日に七尾市にて、県内の被災状況や災害対応等について情報共有会議を実施した。
経営協	役員会（5月、7月、10月）および総会（5月）にて、経営協および福祉施設支援チームによる取組状況等を報告した。
老施協	2月16日に役員会を開催し、奥能登施設の被災状況や現状などについて、情報共有を行った。 12月9日の研修会において、被災施設等の災害対応等について情報共有を行った。
日保協	6月1日の総会研修会にて、被災された園、国会議員、こども家庭庁職員にて、被災時の状況から今後の支援の在り方などをパネルディスカッション形式で討論いただき、能登地域の施設からの参加者による状況報告や質疑も交えた意見交換を行った。
児童養護	毎月開催される施設長会において、被災施設の現況報告を受け、情報共有を行った。
セルブ協	10月7日の役員会にて、被災施設の現状等について情報共有を行った。
県民児連	理事会にて、各市町民児協の被災状況（1月、3月）、全国民生委員互助共励事業「災害見舞金」の申請状況（6月、令和7年1月）について情報共有を行った。

## ⑩ 県との連絡調整等

老施協	<p>1月2日、被災地からの物資支援ニーズに応えるため、県南の会員施設に対し提供可能物資の状況を調査した。</p> <p>1月3日、県南の会員施設に対し、能登地域の被災施設の利用者の受入可能人数等の調査を実施した。また、県南の施設を中心に、能登地域の施設利用者の受入に協力した。</p> <p>3月15日、6月13日、9月2日に県と情報共有のための会議を開催した。</p> <p>1月27日～2月19日まで、県の高齢者施設等状況連絡会（定例ミーティング）に参加し、情報共有を行った。</p> <p>2月2日～9月10日まで、施設間応援職員派遣マッチング会議（定例ミーティング）に参加し、情報共有を行った。</p> <p>1.5次避難所が6月30日で閉所することとなり、要介護者（7名）の受入に協力した。</p>
老施協・包括・在介協	1月8日、県が実施する高齢者施設等に関する支援体制会議に出席し、情報共有を行った。
ケアマネ協	11月より、広域避難高齢者等受入調整事業への協力（継続中）

## ⑪ 全国組織との連絡調整

福祉施設支援チーム	2月から9月の間、「福祉施設支援チーム」事務局（経営協）と全国経営協との定期会議を開催し、被災地の法人・施設の事業再開・事業継続にかかる情報収集と創造的復興に向けた社会福祉法人の関わり方を2本柱とし、事務局支援や要望活動等を行った。
各種別協議会	被災した会員への見舞金支給に関する事務手続きを行った。
老施協	<p>全国老施協DWA T派遣にかかる調整を行った。</p> <p>全国老人福祉施設大会・研究会議において、能登半島地震における老施協DWA T等の活動写真パネルの展示および動画の放映を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

## ⑫ ブロック組織との連絡調整

経営協	1.5次避難所に避難する要介護高齢者が福祉避難所へ移動し、介護職員不足から全国経営協より各ブロック経営協への派遣要請があり、本会においても派遣に協力する体制を整備した（派遣期間短縮のため実働なし）。
老施協・デイ協	<p>ブロック老施協臨時正副会長会議（災害対策支援会議）において、能登地域の避難施設利用者の受入について協力要請を行った。</p> <p>1/5～11/27まで9回、ブロック老施協災害支援対策会議において、被災地域の情報共有を行い、DWA T派遣への協力要請を行った。</p> <p>ブロック老施協主催で、能登半島地震復興フォーラムを実施した。（2/21大雪による延期に伴い4/8に実施）</p>



### (3) 介護等職員応援派遣の調整

1月15日より7月31日まで、厚生労働省・災害福祉支援ネットワーク中央センター（全社協）に「マッチング本部」を設置し、福祉避難所および被災した社会福祉施設等へ介護等応援職員を派遣する「社会福祉施設等に対する応援職員派遣体制構築事業」が開始された。

8月2日から（現在も継続中）は、県社協に「マッチング本部」を移し、本会職員が13施設に257人の派遣調整を行った（令和7年3月31日現在）。

マッチング本部では、福祉避難所・被災施設等への応援派遣ニーズに合わせて、県に応援職員として登録された介護等職員の派遣調整（マッチング）と、他の団体による派遣調整結果の取りまとめなどを行った。

- 上記257人は、8月からR7.3月に派遣調整したうち、派遣中止を除いた人数をカウント（全社協に倣って）
- 本会で調整したほか、実績は下記団体にて調整した人数も含む
  - ① 全国社会福祉法人経営者協議会
  - ② 日本認知症グループホーム協会
  - ③ 地域密着ケア連絡会
  - ④ 日本知的障害者協会

## 【参考】社会福祉施設（通所施設を除く）の被害等の状況について

（県危機対策課 被害等の状況について 第57報（2024年1月19日14時00分現在）より抜粋）

種 別	市 町	施設数	被 害 内 容
高 齢 者 施 設	珠 洲 市	6	施設一部損壊4、停電1、ガス1、断水5
	能 登 町	11	人的被害1、施設一部損壊10、ガス2、断水10
	輪 島 市	13	人的被害4、施設一部損壊7、停電3、ガス5、断水9
	穴 水 町	8	人的被害2、施設一部損壊7、ガス2、断水4
	七 尾 市	25	人的被害4、施設一部損壊16、停電1、ガス4、断水19
	志 賀 町	16	人的被害1、施設一部損壊9、ガス1、断水16
	中能登町	5	施設一部損壊5
	羽 咋 市	4	施設一部損壊4
	か ほ く 市	2	施設一部損壊2
	津 幡 町	2	施設一部損壊2
	内 灘 町	1	施設一部損壊2
	小 松 市	17	施設一部損壊17
	金 沢 市	1	施設一部損壊1
	加 賀 市	1	施設一部損壊1
	白 山 市	1	施設一部損壊1
	川 北 町	1	施設一部損壊1
	能 美 市	1	施設一部損壊1
障 害 者 関 係 施 設	七 尾 市	22	停電・断水・施設一部損壊
	小 松 市	6	施設一部損壊
	輪 島 市	13	停電・断水・施設一部損壊
	珠 洲 市	2	断水・施設一部損壊
	加 賀 市	17	施設一部損壊
	羽 咋 市	7	断水・施設一部損壊
	か ほ く 市	9	断水・施設一部損壊
	能 美 市	2	施設一部損壊
	野々市市	1	施設一部損壊
	津 幡 町	14	断水・施設一部損壊
	内 灘 町	3	断水
	宝達志水町	2	断水・施設一部損壊
	中能登町	6	断水・施設一部損壊
	穴 水 町	7	断水・施設一部損壊
	能 登 町	12	停電、電水・施設一部損壊
児 童 関 係 施 設	七 尾 市	1	断水
	穴 水 町	1	停電・断水・施設一部損壊
	加 賀 市	1	施設一部損壊
救 護 施 設	七 尾 市	1	断水、ボイラー使用不可※ガス復旧

# 7

## 石川県福祉の仕事マッチングサポートセンターの取り組み

令和6年能登半島地震の被災者や被災事業者に対し、雇用・就職に関する支援の実施

### (1) 能登半島地震 介護・福祉人材雇用・就職サポートデスクの設置

被災者や被災事業者からの相談対応を実施（オンライン可）

- ・離職者向け…被災者の方を対象とする求人情報の提供等
- ・被災事業者向け…人材確保に関する相談対応等
- ・その他事業者向け…被災者向け求人の受付、在籍型出向を受け入れる事業者の掘り起こし等

＜被災者の方を対象とする求人の例＞

- ・社宅や寮などの住居の提供
- ・住居確保のために、不動産業者の紹介や入居初期費用を支援
- ・事業所が休止中の間の、一時的なつなぎの仕事
- ・被災された方の優先的な採用

### (2) 福祉のお仕事出張相談会の開催

① 令和6年2月28日（水）～、避難者等への求人情報の提供、福祉のお仕事に関する相談対応を実施

日 時	会 場	期 間	相談者数
毎週水曜日 ※ 13:30～15:30	金沢福祉用具プラザ	～6月末	20人
毎週木曜日 13:30～15:30	老人福祉センター椿荘	～3月末	10人
毎週金曜日 10:00～11:30	辰口福祉会館	～3月末	2人

※4月以降、月曜もしくは金曜に開催

協 力：金沢市社協、野々市市社協、能美市社協  
福サポからの紹介就職者：6人



主催：石川県、(社)石川県社会福祉協議会

能登半島地震で被災された方々を対象とした

## 福祉のお仕事出張相談会

福祉のお仕事をお探しの方や、関心のある方はどうぞお気軽にご相談ください。

●費用無料 ●予約不要

期間：令和6年2月28日（水）～3月29日（金）  
期間中、下記の会場・日時で実施します。

会 場	日 時
●金沢福祉用具情報プラザ 金沢市本町1-10-1ルキーナ金沢	毎週水曜日 13:30～15:30
●辰口福祉会館 能美市辰口町又10	毎週金曜日 10:00～11:30
●老人福祉センター椿荘 野々市市矢作3丁目1番地2	毎週木曜日 13:30～15:30

※福サポの窓口や電話、メールでも随時ご相談いただけますので、ご利用ください。

お問合せ 石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター  
金沢市石引4-17-1 石川県本多の森庁舎1階  
TEL 076-234-1151 平日9:00～18:00  
E-mail fukusapo@isk-shakyo.or.jp





- ② 令和6年8月3日（土）、仮設住宅で生活する方々に対し、福祉のお仕事に関する相談対応等を実施

相談者数：3人

<内容>

- ・福サポ相談コーナー  
…福祉の仕事の紹介、資格取得相談
- ・社会保険労務士相談コーナー  
…失業手当などの各種社会保険制度に係る相談
- ・珠洲ささえ愛センター相談コーナー  
…生活全般に係る相談

協力：珠洲市社協（珠洲ささえ愛センター）

連携：県地域支え合いセンター

石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター

## 福祉のお仕事出張相談会

福祉のお仕事をお探しの方や、関心のある方は  
どうぞお気軽にご相談ください  
社会保険労務士による相談コーナーもあります  
(失業手当などの各種社会保険について)

●費用無料 ●予約不要

**8月3日(土)10時～12時**  
**蛸島公民館** (珠洲市蛸島町三郎139番地)

- 福サポ相談コーナー  
…福祉の仕事の紹介、資格取得相談
- 社会保険労務士相談コーナー  
…失業手当などの各種社会保険制度に係る相談
- 珠洲ささえ愛センター相談コーナー  
…生活全般に係る相談

お問合せ  
**福サポいしかわ** 石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター  
金沢市石引4-17-1 石川県本多の森庁舎1階  
TEL 076-234-1151 平日9:00～18:00  
E-mail fukusapo@isk-shakyo.or.jp

### (3) 各種相談会への参画

<ハローワーク・ILAC出張相談会>

日時	会場	相談者数
2月26日	あわづブランドホテル	1人

主催：ハローワーク、ILAC

福サポからの紹介就職者：1人



<短期のお仕事相談会、お仕事相談会>

月	開催回数	相談者数
3月	4回	11人
4月	7回	16人
5月	8回	16人
6月	8回	18人
7月	9回	19人
8月	7回	15人
9月	8回	16人
10月	6回	4人
11月	6回	5人
12月	4回	6人
7年1月	4回	2人
7年2月	4回	4人
7年3月	4回	7人

福サポからの紹介就職者：6人



令和6年避難半島地域で被災された皆さまへ

## 短期のお仕事相談会

相談無料 申込不要 最短1ヵ月から 石川県ハローワーク・行政の相談 5ヵ月

短期の求職など、一時的な仕事をご希望の方への相談会を開催します。お気軽にご相談ください。

5月の相談会スケジュール

日	時間	会場	予約番号
5/7(火)	13:30～15:30	金沢市文化ホール 第5会議室	〒920-0864 金沢市南15番1号
5/9(木)・21(火)	10:00～12:00	ハローワーク金沢 3F 大会議室	〒920-8609 金沢市南15番1号
5/10(木)	13:30～15:30	金沢市役所 第一本庁舎 2F 市民ホール	〒920-8577 金沢市南15番1号
5/14(火)・28(火)	13:30～15:30	七尾市 バトリア 4F フロア	〒925-0811 七尾市南15番1号
5/23(木)	13:30～15:30	ハローワーク能登 2F 会議室	T 927-0435 能登郡能登町下宮田新田2-2-2
5/30(金)	13:30～15:30	山代温泉 みやぎの館 加賀百万石 2F 宴会場【黒百合】	〒922-0242 加賀市山代11-2-1

※会場までの送迎はありませんので、ご了承ください。

求人内容の一覧は、下記の二次元コードからご覧いただけます。

一般事務/データ入力/接客/倉庫作業/清掃/ホールスタッフ/レジスタック/設備管理/分室/レンタカーの運転/引取り/トラック運転/警備員/学生アルバイト/清掃/簡単な調理補助/食品製造/商品の梱包/梱包/清掃/接客/食品/食料内仕付け作業/エスディアシスタント

令和6年避難半島地域で被災された皆さまへ  
（石川県人財支援協議会）  
0120-563-562  
（受付時間 平日9:00～17:00）

石川県ハローワーク・行政の相談 5ヵ月

主催 石川県 石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター  
（石川県人財支援協議会）  
後援 金沢市・七尾市 運営 石川県人財支援協議会

#### (4) 能登北部地域事業所の状況ヒアリング

能登北部地域の事業所を訪問し、施設運営や職員の雇用についてヒアリングし、雇用調整助成金をはじめ必要な情報を提供

＜訪問事業所＞

- ・あての木園（輪島市）
- ・ゆきわりそう（輪島市）
- ・輪島市社会福祉協議会（輪島市）
- ・珠洲市社会福祉協議会（珠洲市）
- ・すず椿（珠洲市）
- ・長寿園（珠洲市）
- ・美笑苑（珠洲市）
- ・穴水町社会福祉協議会（穴水町）
- ・能登穴水聖頌園（穴水町）
- ・平和こども園（穴水町）
- ・こすもす（能登町）
- ・能登町社会福祉協議会（能登町）



#### (5) 雇用維持支援説明会（在籍型出向制度の周知）の開催

令和6年3月6日（水）13：30～16：00

於：能登空港 47人参加

内 容：在籍型出向について、雇用調整助成金の特例措置について等

主 催：県、ILAC、福サポ

共 催：（公財）産業雇用安定センター石川事務所  
石川労働局

令和6年能登半島地震で被災し、従業員の雇用維持に取り組む事業者の皆さまへ

介護・福祉事業者向け **雇用維持支援説明会** 参加無料

令和6年能登半島地震により、雇用調整助成金の特例措置等が実施されましたが、従業員の雇用維持には「**在籍型出向**」という方法もあります。本説明会ではこの「在籍型出向」を中心に、雇用維持に向けた支援策についてご説明します。

**※介護・福祉事業者以外でも参加可能です。** オンライン同時開催

◆在籍型出向とは？  
従業員の皆さんを貴社（出向元）に置いていただき、一定期間、貴会社（出向先）で業務に従事させるしくみのことです。従業員の労働条件や賃金負担などは、貴社と労働者で話し合った上で決定します。

内 容	◆在籍型出向について ◆雇用調整助成金の特例措置について ◆雇用保険の特例措置について ◆「福サポいしかわ」について
日 時	令和6年3月6日（水）13:00～15:00
会 場	能登空港2階 団体待合室 会場定員 20名 （輪島市三井町洲衛10-11-1）

**申込方法**  
下記URLもしくはお近くの二次元コードからお申し込みください。  
<https://s.ed/1607/>  
・お申し込み完了後、開催時期が近づきましたら、本説明会の運営委託先である（株）多より、開催用URLをメールにてご案内します。 お申し込みフォーム  
●オンライン配信 参加申込窓口：（株）多 TEL: 076-227-8760 MAIL: career@kanazawa-raku.jp

●主催 石川県 ILAC（いしかわ労働・定住総合サポートセンター） 石川県福祉の仕事をマッチングサポートセンター  
●共催 （公財）産業雇用安定センター石川事務所 TEL: 076-251-6047 石川労働局  
●問い合わせ先：石川県労働政策推進課（担当：角田） TEL: 076-225-1672

#### (6) 2次避難者への福サポ周知

令和6年2月22日（木）

県厚生政策課よりチラシを配布

#### (7) 能登プロジェクトの実施

能登半島地域で勤務する福祉職（介護職・保育職）を募集

- ・有効求人：12法人・26件
- ・求 職 者：32人登録
- ・就職決定者：2人（令和7年3月末現在）

**介護・福祉の仕事**

をお探しの皆様へご案内です！

「避難先で仕事を探したいけど、どこに相談したらいいのかな…」

「住み込みができたから、短時間の仕事を探してるんだけど…」

「経験も資格もないけど、福祉の職場で働けるのかな…」

「いつかは能登に戻りたいから、短期の仕事を探してるんだけど…」

**介護・福祉分野の専門家が丁寧にサポートします！**  
まずはご相談ください！

ご相談・お問い合わせ  
石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター（福サポいしかわ）  
〒920-0935 石川県金沢市石川4-17-1 石川県本多の森庁舎内  
TEL: 076-234-1151 / FAX: 076-234-1153  
E-mail: fukusapoi@isk-shokyo.or.jp 〈利用時間：平日9時～18時〉

## (8) 保育ホッとサロンの開催

能登地域の保育士の離職防止のため、ストレス発散や保育の魅力を再認識する機会を提供

日 時	会 場	参加者数
6月29日(土) 10:00~11:50	珠洲市 (つばきこども園)	24人
6月29日(土) 14:30~16:20	輪島市 (わじまミドリこども園)	9人
6月30日(日) 10:00~11:50	能登町(役場)	22人

<内容>

- ・菊池政隆氏との歌遊び
- ・お楽しみマルシェ 等

協 力：保育士会、日保協石川県支部青年部



## (9) 介護助手説明会における相談コーナーの設置

県主催の説明会において、相談コーナーを設置し、求職登録や他の求人の紹介等を行った。

開催市町	日 時	相談者	採用者数
七尾市	1月18日	10	4
輪島市	1月19日	2	1
能登町	1月25日	5	2
珠洲市	1月26日	10	※7

※珠洲市の採用者7名以外に、1名は介護助手以外の職種にて紹介就職





# 8

## 石川県地域支え合いセンターの取り組み

### (1) 県社協の動き

令和6年3月以降、県内の市町社協では、被災者の孤立防止等のための見守り支援や、日常生活上の相談を行う「被災者見守り・相談支援等事業」を順次受託し、地域支え合いセンターを設置している。

本会では、令和6年3月に「被災者見守り・相談支援等事業」を県から受託、「石川県地域支え合いセンター」を設置し、各市町地域支え合いセンター（以下、市町センター）の運営に関する相談支援、人材育成、専門職等の関係団体との連携協働等による後方支援を開始した。

#### 被災者見守り・相談支援等事業とは

生活困窮者自立支援事業の「その他生活困窮者の自立の促進を図るために必要な事業」に位置づけられている。

災害救助法に基づく応急仮設住宅に入居した被災者は、被災前とは大きく異なった環境に置かれることとなるが、このような被災者が、それぞれの環境の中で安心した日常生活を営むことができるよう、応急仮設住宅の供与期間中、孤立防止等のための見守り支援や、日常生活上の相談を行うとともに、被災者を関係支援機関へつなぐ等の支援を行う事業。

被災者見守り・相談支援等事業を受託した市町社協では、地域支え合いセンターに生活支援相談員を配置し、応急仮設住宅（建設型・賃貸型（みなし仮設住宅）・公営住宅）に居住する被災者や在宅の被災者を訪問している。

### (2) 各市町の設置状況、運営形態

県内全ての市町で地域支え合いセンターが設置され、市町社協やNPO法人等が運営を担っている。県内の地域支え合いセンターの設置状況や運営形態は以下のとおり。

#### ① 被災9市町（建設型仮設住宅が設置された市町）

運営形態：各市町からの委託により、市町社協等が運営

見守り対象者：建設型仮設住宅に入居した被災者、在宅の被災者

みなし仮設住宅（賃貸・公営住宅）に入居した被災者

市 町	受託団体
輪島市ささえあいの風センター	輪島市社会福祉協議会
	青年海外協力協会
珠洲市ささえ愛センター	珠洲市社会福祉協議会
	日本医療ソーシャルワーカー協会
	特定非営利活動法人YNF
能登町地域ささえあいセンター	青年海外協力協会
	能登町社会福祉協議会
	石川県相談支援専門員協会

市 町	受託団体
ささえあいセンター穴水	穴水町社会福祉協議会
七尾市地域支え合いセンター	七尾市社会福祉協議会
志賀町地域支え合いセンター	志賀町社会福祉協議会
中能登町地域支え合いセンター	中能登町社会福祉協議会
羽咋市地域支え合いセンター	羽咋市社会福祉協議会
地域支え合いセンター内灘	内灘町社会福祉協議会

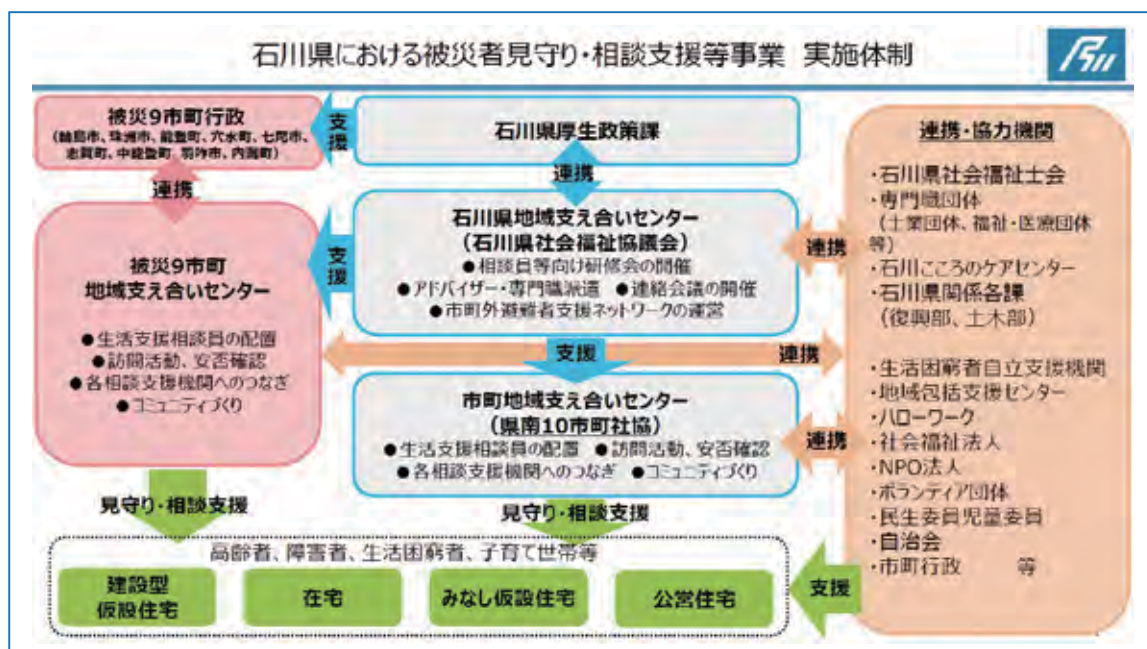
## ② 県南10市町

運 営 形 態：県からの委託により、市町社協が運営

見守り対象者：みなし仮設住宅に入居した被災者

親類宅等へ広域避難中の被災者

市 町	受託団体
石川県地域支え合いセンター金沢	金沢市社会福祉協議会 石川県社会福祉士会
石川県地域支え合いセンター小松	小松市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター加賀	加賀市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンターかほく	かほく市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター白山	白山市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター能美	能美市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター野々市	野々市市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター川北	川北町社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター津幡	津幡町社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター宝達志水	宝達志水町社会福祉協議会



### (3) 石川県支え合いセンターの活動状況

#### ① 人材育成

##### ア 基礎研修

各市町センターの研修や中途採用の生活支援相談員への学習のため、基礎研修動画を配信した。

第1講 地域支え合いセンターとは

第2講 生活支援相談員に求められる役割

第3講 訪問活動のすすめ方

##### イ 主任生活支援相談員等研修

開催日	内 容	参加人数
6月21日	講 義：「ニーズを把握しニーズに応じた活動を進めるために」 講 義：「つながることを支援し多様なコミュニティの形成を進めるために」 講 師：オフィス園崎	24名

##### ウ オンラインサロン

被災者生活再建支援に関する基礎知識の習得や他の被災地の実践を知ることを目的に、令和6年7月より毎月オンライン開催（一部集合型あり）

開催月	内 容	参 加
7月	講 義：「仮設住宅の供与期間終了後の住まいについて」 講 師：近畿災害対策まちづくり支援機構	38回線
8月	講 義：「災害復興住宅融資を活用した住宅再建について」 講 師：住宅金融支援機構北陸支店	28回線
9月	講 義：「被災者のかかえるストレスとその接し方」 講 師：石川こころのケアセンター	39回線
10月	講 義：「被災した子どものこころの傷とその保護者への関わり方」 講 師：金沢大学子どものこころの発達研究センター	23回線
11月	講義・実践発表：「発災後1年を迎える被災者に寄り添うには」 講 師：石川県こころの健康センター 発表者：岩手県釜石市社会福祉協議会	33回線
12月	情報交換会【集合型 県内2会場】 「飛び出せオンライン！ 生活支援相談員のみなさん、何しとるが～」 ファシリテーター：NPO法人日本ファシリテーション協会	能登会場 49名
		加賀会場 26名





開催月	内 容	参 加
1月	実践発表：「先輩生活支援相談員から話を聞こう」 発表者：長野県社会福祉協議会 長野市社会福祉協議会 長野市災害ボランティア委員会（元生活支援相談員）	27回線
2月	実践発表：「サロン活動の実践を聴く」 発表者：岩手県陸前高田市社会福祉協議会	29回線
3月	講 義：「生活支援相談員としての一年を振り返る つながる・つなげる・つなぎなおす」 講 師：岡山県倉敷市社会福祉協議会	26回線

## エ 視察研修

東日本大震災における被災者支援の取組みについて知るため、県外の市町社協への視察研修を実施した。

開催日	視 察 先	参加人数
2月13日 14日	1日目：郡山市社会福祉協議会（福島県） 2日目：南三陸町社会福祉協議会（宮城県）	22名



## ② 専門職・アドバイザー派遣事業

市町センターの生活支援相談員の研修会への講師派遣やサロン会場、相談会への専門職派遣を実施した。

延べ派遣回数：85回

## ③ 連絡会議等の開催

### ア 被災者見守り連絡会

被災高齢者等把握事業から被災者見守り・相談支援等事業へ円滑に繋げるための連絡会に協力した。

開催日	内 容	参加対象
5月24日	行政説明：被災者見守り・相談支援等事業の支援対象範囲 実践発表：岡山県倉敷市における在宅要配慮者支援 各市町における実施状況の情報交換	能登5市町（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、七尾市）の地域支え合いセンターおよび自治体

## イ 自治体連携会議

全市町行政の本事業担当者および市町センターを対象に進捗状況の報告と実践発表を行った。

開催日	内 容
8月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災者見守り・相談支援等事業の実施状況について</li> <li>・石川県地域支え合いセンターの設置について</li> <li>・支え合いセンター実践発表（珠洲市・白山市）</li> <li>・2次避難所支援の実践発表（小松市）</li> <li>・県関係機関等からの被災者支援情報について</li> </ul>
1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災者の住まい確保に係る支援策の行政説明</li> <li>・士業団体による専門相談会の開催状況の報告</li> <li>・被災者見守り・相談支援等事業の実施状況について</li> <li>・県関係機関等からの被災者支援情報について</li> </ul>

## ウ 支え合いセンター情報交換会

### （ア）エリア開催

開催日	開催場所	内 容	参加対象
8月29日	珠洲ささえ愛センター	各種会議の開催状況、生活支援相談員の雇用・勤怠管理、帳票類に関する情報交換	能登6市町地域支え合いセンターセンター長、主任生活支援相談員等
9月18日	津幡町社会福祉協議会	各種会議の開催状況、サロン活動、生活支援相談員の雇用・勤怠管理・活動状況に関する情報交換	かほく市、津幡町、宝達志水町の地域支え合いセンター主任生活支援相談員

### （イ）テーマ開催

開催日	開催場所	内 容	参加対象
1月24日	志賀町文化ホール	実践発表：「東日本大震災被災者支援の経験から災害VCと支え合いセンターの連携」 発表者：釜石市社会福祉協議会	県内の地域支え合いセンターセンター長、主任生活支援相談員等

## エ worklog操作説明会

開催日	開催場所	内 容
5月30日	オンライン	見守り活動記録用アプリworklog操作説明
10月22日	オンライン	見守り活動記録用アプリworklogの機能強化について

## ④ 市町外避難者支援

## ア 広域避難者事例共有会議

オンラインにて被災地・避難先センター間で困難ケースの事例共有を実施した。

開 催 日	被災地センター	避難先センター	共有世帯数
10月24日	穴 水 町	野々市市	1 件
10月24日	志 賀 町	金 沢 市	1 件
10月30日	七 尾 市	かほく市	2 件
11月5日	能 登 町	小 松 市	1 件
		野々市市	1 件
		金 沢 市	1 件
11月6日	輪 島 市	白 山 市	4 件
		加 賀 市	3 件
11月7日	輪 島 市	かほく市	4 件
		小 松 市	1 件
11月8日	珠 洲 市	かほく市	3 件
11月11日	輪 島 市	金 沢 市	5 件
11月18日	珠 洲 市	野々市市	2 件
11月19日	輪 島 市	野々市市	3 件
2月18日	穴 水 町	野々市市	1 件
2月25日	珠 洲 市	金 沢 市	1 件
		小 松 市	2 件
		野々市市	1 件
		白 山 市	1 件
2月26日	輪 島 市	小 松 市	1 件
		野々市市	2 件
			合計41件

## イ 能登サロンin金沢勤労者プラザの開催

県南への広域避難者の集いの場として開催した。

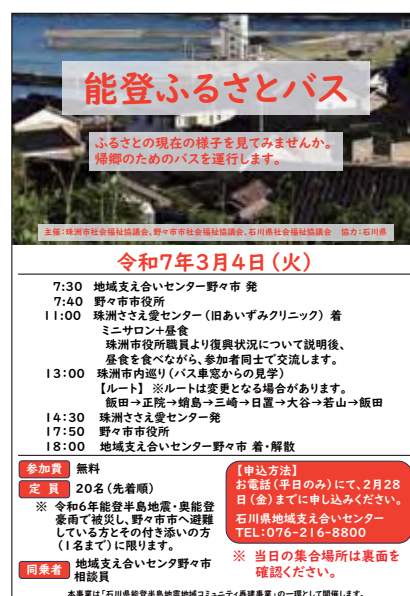
開催日	開催場所	内 容	参加人数
12月7日	金沢勤労者プラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域避難者同士の交流会</li> <li>・弁護士や被災自治体職員等による相談コーナー</li> <li>・キッズ縁日</li> <li>・キャラクターとの写真撮影会</li> </ul>	66人



## ウ 能登ふるさとバス

被災地への移動が困難な被災者を対象とし、地元の復興状況を知るためのバスツアーを実施した（令和7年度に実施するための試行事業）。

開催日	参加対象	内 容	参加人数
3月4日	野々市市に避難した珠洲市民	・ 珠洲市職員からの復興状況の説明 ・ 被災地区を巡り、復興状況を確認	15名



## ⑤ 広報活動

### ア 地域支え合いセンター活動紹介のチラシ送付

県南10市町のみなし仮設および公営住宅の新規入居世帯に対し、地域支え合いセンターの訪問活動等について知らせるチラシを送付した

送付数 毎月1回 合計 2,941通

### イ 石川県社会福祉協議会ホームページ内に専用ページ新設

オンラインサロンの動画、各月送付した被災者生活支援情報を掲載

### ウ 石川県社会福祉協議会機関紙「社会福祉」、フェイスブック「災害情報@いしかわ」に県および市町地域支え合いセンターの活動を紹介

### エ 生活支援相談員向け参考資料の作成

(ア) 訪問活動のポイント

(イ) 個人情報の取り扱いについて

(ウ) 見守り活動における緊急時の対応について

## ⑥ 市町地域支え合いセンター定例会への参加および巡回訪問 123件

## 資料編

資料 1	令和 6 年能登半島地震における被害と 他の震災被害との比較	36
資料 2	令和 6 年能登半島地震における震度分布図	36
資料 3	災害ボランティアセンター設置状況	37
資料 4	令和 6 年能登半島地震ボランティア活動者数 (奥能登豪雨災害活動者を含む)	38
資料 5	ブロック社協職員派遣実績	40
資料 6－①	種別協・団体 義援金等の受入及び 被災した福祉施設等への配分状況	42
資料 6－②	種別協・団体 全国協議会等の見舞金等 申請手続き	43
資料 6－③	種別協・団体 派遣状況一覧	43

## 資料 1

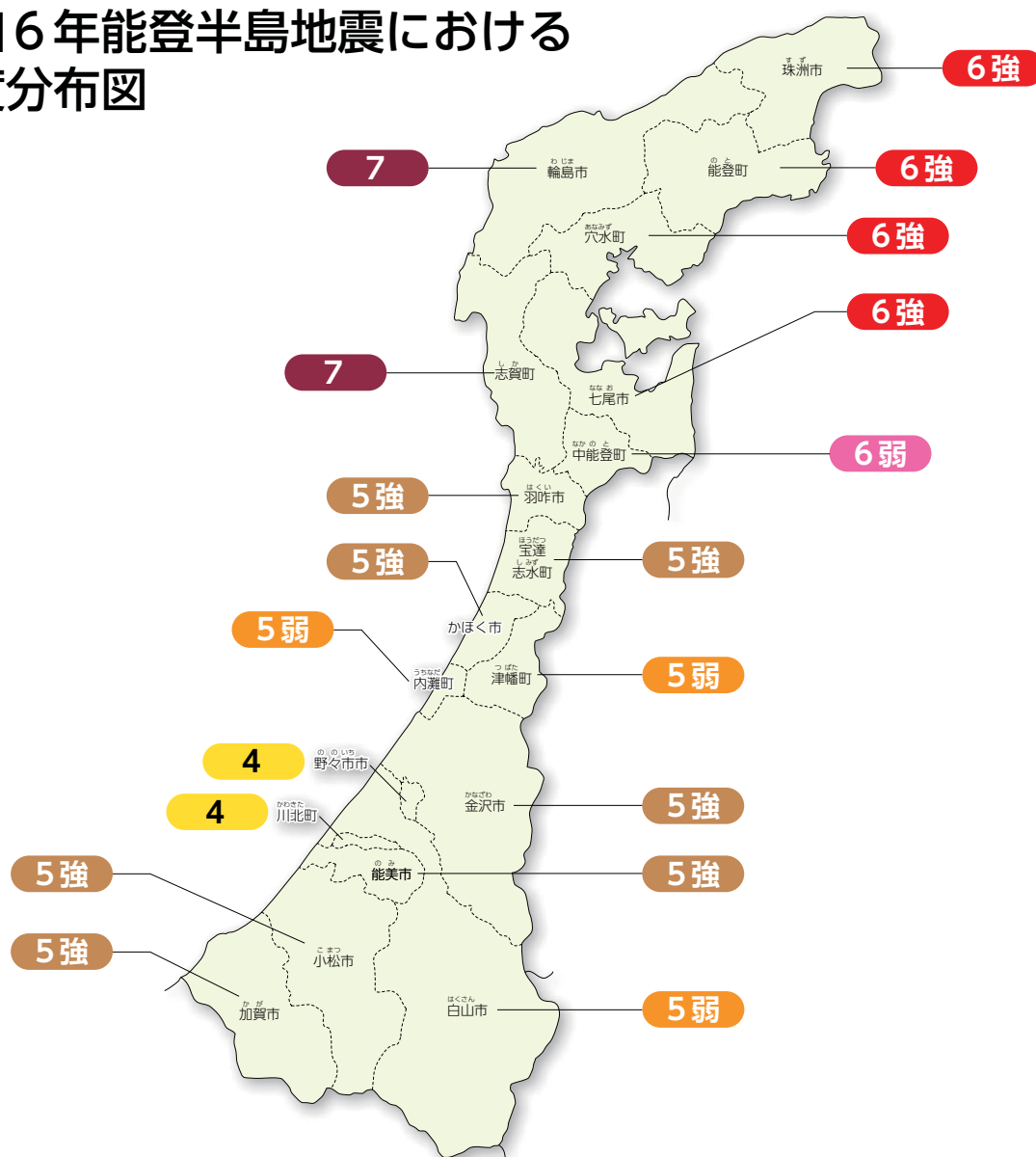
### 令和 6 年能登半島地震における被害と他の震災被害との比較

区 分	死 者 (人)	負傷者 (人)	全 壊 (棟)	半 壊 (棟)	一部損壊 (棟)	最大震度、マグニチュード 震源の深さ
令和 6 年能登半島地震	562	1,267	6,117	18,550	91,003	震度 7、M7.6、16km
平成30年北海道胆振東部地震	42	762	462	1,570	12,600	震度 7、M6.7、37km
平成28年熊本地震（本震）	252	2,720	8,665	34,392	153,941	震度 7、M7.3、12km
平成23年東日本大震災	19,475	6,221	121,744	279,107	744,328	震度 7、M9.0、24km
平成19年能登半島地震	1	356	686	1,740	26,958	震度 6 強、M6.9、11km
平成16年新潟県中越地震	67	4,805	3,175	13,810	105,573	震度 7、M6.8、13km
平成 7 年阪神・淡路大震災	6,434	43,792	104,906	144,274	390,506	震度 7、M7.3、16km

※各震災被害情報は、石川県HP被害状況報告（R 7.3.31 第198報）及び内閣府HP「防災情報のページ」より

## 資料 2

### 令和 6 年能登半島地震における 震度分布図





## 災害ボランティアセンター設置状況

番号	市町名	開設日	活動開始日	開設場所
1	金 沢 市	開設せず		
2	七 尾 市	令和6年 1月10日(水)	令和6年 1月27日(土)	七尾市文化ホール（七尾市本府中町ヲ部38番地） 8/1(木)～ 移転 七尾市社会福祉協議会事務所（七尾市御祓町1番地）
3	小 松 市	開設せず		
4	輪 島 市	令和6年 1月25日(木)	令和6年 2月10日(土)	ワイプラザ駐車場 西松屋輪島店前（輪島市宅田町41） 下記の場所は12月末で閉所 ボートパーク（輪島市河井町1-1） 【サテライト】 門前サテライト （輪島市門前町走出2-111 北鉄奥能登バス 門前案内所） 町野サテライト（輪島市町野町広江4-48 町野福祉会）
5	珠 洲 市	令和6年 1月2日(火)	令和6年 2月3日(土)	珠洲市社会福祉協議会（珠洲市飯田町5-9）
6	加 賀 市	令和6年 1月3日(水)	令和6年 1月6日(土)	加賀市社会福祉協議会（加賀市大聖寺南町二11-5） ※令和6年3月31日をもって災害VCは閉所し、通常のVCにて対応
7	羽 咋 市	令和6年 1月12日(金)	令和6年 1月13日(土)	羽咋体育館玄関ホール（羽咋市鶴多町亀田17 1階） 9/1(日)～ 移転 羽咋すこやかセンター（羽咋市鶴多町亀田17 1階）
8	かほく市	令和6年 1月22日(月)	令和6年 2月7日(水)	かほく市宇ノ気保健福祉センター（かほく市宇野気二71番地2） 6/10(月)～ 移転 かほく市七塚健康福祉センター（かほく市遠塚口52番地10）
9	白 山 市	開設せず		
10	能 美 市	開設せず		
11	野々市市	開設せず		
12	川 北 町	開設せず		
13	津 幡 町	通常のVCにて対応		
14	内 灘 町	令和6年 1月4日(木)	令和6年 1月6日(土)	内灘町文化会館（内灘町大清台140）
15	志 賀 町	令和6年 1月9日(火)	令和6年 1月26日(金)	志賀町文化ホール（志賀町高浜町力1-1） 5/31(金)～ 移転 富来行政センター右側車庫（志賀町富来領家町甲の10番地）
16	宝達志水町	令和6年 1月9日(火)	令和6年 1月17日(水)	宝達志水町民センターアステラス（宝達志水町門前サ11番地） ※令和6年5月18日をもって災害VCは閉所し、通常のVCにて対応
17	中能登町	令和6年 1月15日(月)	令和6年 1月30日(火)	保健センターすくすく（中能登町末坂2-57-1） ※令和7年3月31日をもって災害VCは閉所し、通常のVCにて対応
18	穴 水 町	令和6年 1月10日(水)	令和6年 1月10日(水)	さわやか交流館プルート（穴水町字大町ト3番地3）
19	能 登 町	令和6年 1月6日(土)	令和6年 1月26日(金)	能登町社会福祉協議会 本所（能登町字松波13-75-1） 【サテライト】 能都サテライト（7月末で閉所） （能登町崎山1-1 崎山山村開発センター） 柳田サテライト（11月末で閉所） （能登町柳田梅198 笹ゆり荘）

## 令和6年能登半島地震ボランティア活動者数 (奥能登豪雨災害活動者を含む)

市 町 村	令 和 6 年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
珠 洲 市	0	1,586	4,203	3,573	5,133	4,485	2,924
輪 島 市	0	1,006	1,504	2,127	3,609	2,638	2,023
能 登 町	64	1,405	3,344	3,846	3,652	2,807	2,546
穴 水 町	1,163	3,491	4,306	3,616	3,685	2,033	1,082
七 尾 市	417	4,527	5,675	4,253	4,928	3,714	581
中 能 登 町	38	1,624	1,266	0	4	16	34
羽 咋 市	186	1,181	1,257	184	71	63	29
志 賀 町	324	3,841	3,795	2,763	2,461	1,410	1,035
宝達志水町	74	92	266	39	0		
か ほ く 市	0	139	180	176	162	129	83
内 灘 町	415	775	535	1,174	542	449	256
加 賀 市	285	325	210				
計	2,966	19,992	26,541	21,751	24,247	17,744	10,593

## 令和6年能登半島地震ボランティアバス運行実績 (9月20日からの大雨災害運行実績を含む)

	令 和 6 年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
運 行 台 数	25	234	458	342	241	217	154

(単位：人)

					令和7年			合計
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2,454	1,954	3,496	2,649	1,518	397	255	846	35,473
1,819	1,794	5,030	5,116	4,909	1,150	590	1,400	34,715
857	1,075	1,854	1,043	121	76	40	176	22,906
964	782	303	629	115	68	25	140	22,402
40	102	42	0	0	0	0	0	24,279
12	10	0	8	5	0	0	0	3,017
39	43	23	36	51	80	8	82	3,333
468	436	445	639	349	260	201	488	18,915
								471
85	54	70	32	25	38	50	28	1,251
259	196	180	154	140	131	94	83	5,383
								820
6,997	6,446	11,443	10,306	7,233	2,200	1,263	3,243	172,965

(単位：台)

					令和7年			合計
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
116	149	348	310	246	34	17	40	2,931



## ブロック社協職員派遣実績

〔派遣期間〕 令和6年1月19日～12月25日

〔派遣人数〕 13,880人（詳細は、以下の表を参照）

（単位：人）

		珠州市	輪島市	能登町	穴水町	志賀町	七尾市	かほく市	内灘町	中能登町	羽咋市	合 計
R 6 ・ 1 月	東海・北陸ブロック	60	63	30		6	13					172
	北海道・東北ブロック											0
	関東Aブロック											0
	関東Bブロック											0
	近畿ブロック					14	52				14	80
	中国ブロック											0
	四国ブロック											0
	九州ブロック											0
	小 計	60	63	30	0	20	65	0	0	0	14	252
2 月	東海・北陸ブロック	280	204	76								560
	北海道・東北ブロック					104						104
	関東Aブロック				3			70	78			151
	関東Bブロック									197		197
	近畿ブロック					34	326				72	432
	中国ブロック			43	66							109
	四国ブロック					76						76
	九州ブロック											0
	小 計	280	204	119	69	214	326	70	78	197	72	1,629
3 月	東海・北陸ブロック	312	290	78								680
	北海道・東北ブロック					234						234
	関東Aブロック				114				114			228
	関東Bブロック						42			186		228
	近畿ブロック						390				78	468
	中国ブロック			204	4							208
	四国ブロック					156						156
	九州ブロック											0
	小 計	312	290	282	118	390	432	0	114	186	78	2,202
4 月	東海・北陸ブロック	286	287	84								657
	北海道・東北ブロック					236						236
	関東Aブロック		40		121				18			179
	関東Bブロック			36			63			3		102
	近畿ブロック						454				4	458
	中国ブロック			242								242
	四国ブロック					8						8
	九州ブロック	90										90
	小 計	376	327	362	121	244	517	0	18	3	4	1,972
5 月	東海・北陸ブロック	180	296	90								566
	北海道・東北ブロック					255						255
	関東Aブロック		216		63							279
	関東Bブロック			217								217
	近畿ブロック						474					474
	中国ブロック			248								248
	四国ブロック	101										101
	九州ブロック	94										94
	小 計	375	512	555	63	255	474	0	0	0	0	2,234
6 月	東海・北陸ブロック	142	171	88								401
	北海道・東北ブロック					146						146
	関東Aブロック		296									296
	関東Bブロック			222								222
	近畿ブロック						432					432
	中国ブロック			148								148

		珠州市	輪島市	能登町	穴水町	志賀町	七尾市	かほく市	内灘町	中能登町	羽咋市	合 計
6月	四国ブロック	148										148
	九州ブロック	333										333
	小 計	623	467	458	0	146	432	0	0	0	0	2,126
7月	東海・北陸ブロック	91	185	88								364
	北海道・東北ブロック	40										40
	関東Aブロック		315									315
	関東Bブロック			152								152
	近畿ブロック											0
	中国ブロック		4	78								82
	四国ブロック	156										156
	九州ブロック	240										240
	小 計	527	504	318	0	0	0	0	0	0	0	1,349
8月	東海・北陸ブロック	68	204									272
	北海道・東北ブロック											0
	関東Aブロック		108									108
	関東Bブロック	8										8
	近畿ブロック											0
	中国ブロック		76									76
	四国ブロック	148										148
	九州ブロック	232										232
	小 計	456	388	0	0	0	0	0	0	0	0	844
9月	東海・北陸ブロック	86	77									163
	北海道・東北ブロック											0
	関東Aブロック		76									76
	関東Bブロック	52										52
	近畿ブロック											0
	中国ブロック		72									72
	四国ブロック											0
	九州ブロック	60										60
	小 計	198	225	0	0	0	0	0	0	0	0	423
10月	東海・北陸ブロック	22	44									66
	北海道・東北ブロック											0
	関東Aブロック		40									40
	関東Bブロック	40										40
	近畿ブロック		20									20
	中国ブロック		32									32
	四国ブロック											0
	九州ブロック	48										48
	小 計	110	136	0	0	0	0	0	0	0	0	246
11月	東海・北陸ブロック	32	45									77
	北海道・東北ブロック											0
	関東Aブロック		32									32
	関東Bブロック	80										80
	近畿ブロック		40									40
	中国ブロック		36									36
	四国ブロック											0
	九州ブロック	60										60
	小 計	172	153	0	0	0	0	0	0	0	0	325
12月	東海・北陸ブロック	30	36									66
	北海道・東北ブロック											0
	関東Aブロック		28									28
	関東Bブロック	60										60
	近畿ブロック		40									40
	中国ブロック		20									20
	四国ブロック											0
	九州ブロック	64										64
	小 計	154	124	0	0	0	0	0	0	0	0	278
	合 計	3,643	3,393	2,124	371	1,269	2,246	70	210	386	168	13,880

## 種別協・団体 義援金等の受入及び 被災した福祉施設等への配分状況

(単位：円)

各種別協議会・団体名称	目 的	受入総額	支給・配分先等	支給・配分額
オールこども石川	支援金	231,161,330	職員、未就学児	133,560,000
石川県社会福祉法人 経営者協議会	特別年会費	20,000,000	会員29法人	20,050,000
	支援金	50,000		
石川県老人福祉施設協議会	見舞金	0	会員28施設	2,800,000 ※1
	義援金 支援金	99,171,040	会員延56施設	70,669,546
			災害活動費	4,000,000
石川県保育部会	義援金	281,000		
石川県保育士会	義援金	2,410,461	会員4,132名	619,800
			6市町非会員分 保育士会手帳539冊	135,181 ※2
日本保育協会石川県支部	義援金	1,037,591		
石川県保育推進連盟	義援金	2,400,000	会員30施設	2,400,000
石川県児童養護協議会	義援金	16,320,284	会員7施設	12,200,000
			災害対策貯蓄、 協議会活動費等	4,120,284
石川県地域包括・在宅介護支援 センター協議会	見舞金	190,000	会員19センター	570,000 ※3
石川県デイサービスセンター 協議会	義援金	(再掲)99,171,040 ※4	会員延47センター	23,500,000
石川県社会就労センター協議会	義援金	6,291,778	会員5施設	6,000,000
石川県介護支援専門員協会	支援金	3,753,315		
石川県ホームヘルパー協議会	支援金	384,220	会員7施設	350,000
石川県民生委員児童委員協議会 連合会	見舞金	10,178,641	県内17市町民児協	10,018,641

※1 会の活動費より支出

※2 会員分の保育士会手帳は別途事業費より支出

※3 内380,000円は、会の活動費より支出

※4 老人福祉施設協議会と石川県デイサービスセンター協議会併せての金額



## 種別協・団体 全国協議会等の見舞金等申請手続き

(単位：円)

各種別協議会・団体名称	件 数	決定金額（総額）	
石川県社会福祉法人経営者協議会※	36法人	全国	4,550,000
		ブロック	2,275,000
石川県老人福祉施設協議会	33施設	6,030,000	
石川県保育部会	56施設	2,640,000	
石川県デイサービスセンター協議会	12センター	1,900,000	
石川県民生委員児童委員協議会連合会	13市町民児協	26,600,000	

※全国及び東海北陸ブロックそれぞれにおいて見舞金制度あり

## 種別協・団体 派遣状況一覧

No.	派遣団体	派遣期間	派遣人数	備 考	派 遣 先
1	石川県社会福祉法人経営者協議会	4月 ～ 6月	延べ18人	実人数8名	1.5次避難所
2	全 国 老 施 協 D W A T	1月12日 ～ 継続中	345人	1人あたり 5日間	被災施設、避難してきた施設利用者受入施設（11施設）
3	石川県保育士会	1月15日 ～ 2月10日	延べ179人		1.5次避難所
4	石川県介護支援専門員協会	1月10日 ～ 6月13日	延べ501人	実人数93名	1.5次避難所
5	石川県ホームヘルパー協議会	1月14日 ～ 3月2日	延べ12人	実人数10名	1.5次避難所

※R7.3月末までの実績を掲載

## 時をふりかえる

### 令和6年能登半島地震および奥能登豪雨における活動報告

発行日 令和7(2025)年8月

発行者 社会福祉法人 石川県社会福祉協議会  
〒920-8557 石川県金沢市本多町3-1-10（石川県社会福祉会館内）  
TEL 076-224-1212（代）

印刷 株谷印刷 〒921-8022 石川県金沢市中村町28-14





『復興再生』（能登高等学校書道部）